平成27年版 消防4年版



人吉下球磨消防組合







■表紙の説明■

【災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車】

圧縮空気泡消火装置(※CAFS)付き消防自動車(水I-B型)で、15000の水槽及び消防揚水ポンプ装置を装備し、火災現場の状況に応じて速やかに活動できる。

XCAFS

放水による消火に比べ、泡が定着するため消火能力が高く、また泡を使用するため 水よりも軽量であり、消火活動による水損被害を抑えることが出来る。

□表紙裏の説明□

【消防救急デジタル無線(活動波)運用開始】

平成28年6月からのデジタル無線の運用に向け、平成23年度国の第3次補正予算において共通波の整備に着手し、平成25年度から活動波の整備を進めてきた。

平成27年4月に活動波のデジタル運用が開始され、より広範囲をカバーした災害時においても信頼性の高い無線通信が可能となった。

は し がき

この年報は、人吉下球磨消防組合の消防現勢及び平成26年度中 の消防業務に関する諸般の事項を収録し、将来の消防行政の推進に 資するとともに、消防事情を一般に紹介するため編集したものです。

なお、内容については、主に平成27年4月1日をもって収録してあり、一部これらによらないものについては、当該各表に年月日を記載しています。

平成27年7月

人吉下球磨消防組合消防本部

◆ 目 次

〇 消防の現況

♦	一目統計	
•	管内の概要、管内面積・人口及び世帯数 ・・・・・・・・・ 1	
•	消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地 ・・・・・・・ 2	
•	構成市町村の概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3	
♦	平成26年度の主要行事 ・・・・・・・・・・・・ 5	
♦	消防の沿革 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11	
♦	消防組合の組織 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 19)
♦	消防本部及び署の組織 •••••••••• 2C)
•	消防本部及び消防署の事務分掌・・・・・・・・・・・・・ 21	
•	職員の配置状況と階級別現員 ・・・・・・・・・・・・ 25)
•	勤続年数別職員数・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26	;
•	年齢別職員数 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 27	,
•	消防予算 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28	3
•	職員の教育実施状況 ••••••••• 29)
•	職員の特殊技能・資格取得状況 ・・・・・・・・・・ 3C)
_		
0	消防活動	
♦	消防用車両配置状況 ・・・・・・・・・・・・・・・ 31	
•	消防用特殊資機材保有状況 ・・・・・・・・・・・・・ 32	, -
•	消防水利 ••••• 34	-
•	救助業務 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 35)
•	火災統計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37	,
•	救急統計 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4C)
•	通信関係 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45)

〇 予防業務

•	防火対象物現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	50
•	管内中高層建築物現況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	51
♦	消防法令に基づく各種届出、防火管理者講習会実施状況・・・・・・	52
•	建築物の同意件数、危険物施設・規制事務状況・・・・・・・・・・・	53
0	消防団 幼年婦人防火委員会	
○◆	消防団 幼年婦人防火委員会 消防団の組織及び現有勢力、年齢別及び在職年数別消防団員数 ・・・	54
••		54 55
***	消防団の組織及び現有勢力、年齢別及び在職年数別消防団員数・・・・	



·目統計

平成27年4月1日現在



人口・世帯



管内面積 $971.91 \, \text{km}^2$



年平均気温

15.7 ℃ 年間降雨量 2179 mm





58,857人



世帯数 24,541世帯

消防予算

構成・人事



消防予算

9億7,416万円



所

消防本部 1 署 1 分署 4



職員数

定数 110人 実数 109人



消防団員数

定数1,924人 実数1,748人

機械•施設



消防車等

ポンプ車 1台 タンク車 5台



特殊車両等

1台 はしご車 救助工作車 1台 化学車 1台 その他車両 23台



救急車等

高規格救急車6台 救急車 1台



消防水利

消火栓(基準) 620基 消火栓(基準外) 568基 防火水槽 907基



(平成 26 年統計)



火災件数 43件

死 者 〇人 負傷者 5人 損害額52,777(千円)



出火原因

1位 放火 2位 焼却火 3位 配線器具



救急出動

出動件数2,733件 搬送人員2,552人



救助出動

出動件数 44件 活動件数 22件

予 防



防火対象物数

2,639件



危険物施設数

製造所 1件 貯蔵所 147件 取扱所 97件



防火対象物定期点検 報告制度

特例認定事業所 4件 定期点検報告事業所55件



幼年消防 25団体 婦人防火 1 団体

消防の現況



◆ 管内の概要

人吉下球磨消防本部は、熊本県の最南部人吉市の、東経 130 度 44 分9秒、北緯 32 度 13分0秒に位置し、人吉市、錦町、相良村、五木村、山江村、球磨村の 1 市 1 町 4 村をもって構成しています。

地理的空間は、南九州の三県庁所在地(鹿児島市・宮崎市・熊本市)のほぼ中心に位置し、南は宮崎県と鹿児島県に隣接する広大な山地を有する盆地であり、国見岳、市房山を主峰とする山塊に囲まれ、これらの山岳から集まった水は日本三大急流の一つ清流「球磨川」をなし、人吉盆地を貫流し、延長 100 キロメートルの流域を経て八代湾に注いでいます。

本組合管内を南北に貫く九州自動車道は、熊本市・宮崎市・鹿児島市の三県庁所在地に対して、1時間圏内として産業・経済の流入に大きな役割を担っています。

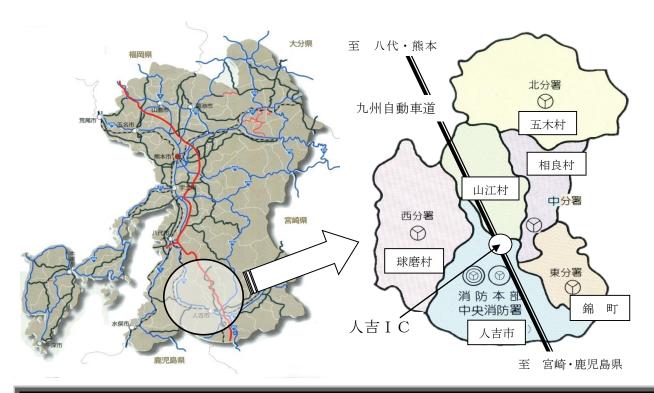
平成 20 年春、人吉市内にある青井阿蘇神社が熊本県内に現存する建造物では初の国宝指定となり、九州内の神社では大分の宇佐神宮本殿に次ぐ、2件目の国宝となりました。



◆ 管内面積・人口及び世帯数

	面積(㎞)	人口(人)	国調人口 (人)	世帯数 (戸)
人吉市	210.49	33,980	35,611	15,770
绵町	85.04	11,163	11,075	3,817
相良村	94.54	4,780	4,934	1,655
五木村	252.9	1,208	1,205	515
山江村	121.21	3,669	3,681	1,232
球磨村	207.73	4,057	4,249	1,552
計	971.91	58,857	60,755	24,541

◆ 消防本部・署の配置及び管轄図・消防機関所在地



			所 在 地	庁舎の構造 及び建築年	延床面積	敷地面積
消防本部中央消防署			〒868-0083 熊本県人吉市下林町 1番地	鉄骨・ 鉄筋コンクリート 3階 (平成元年)	2,802 m [*] (1F) 1,226 (2F) 1,226 (副塔 3F) 36 (主塔 6F) 188 その他 126	5,076 m²
東	分	署	〒868-0302 熊本県球磨郡錦町 大字一武 1587 番地 17	鉄筋コンクリート 平屋建 (昭和 50 年)	233.90 m²	1,062 m²
西	分	署	〒869-6403 熊本県球磨郡球磨村 大字一勝地甲 77 番地 3	鉄筋コンクリート 平屋建 (昭和 50 年)	233.90 m²	1,149 m²
北	分	署	〒868-0201 熊本県球磨郡五木村 甲 2672 番地 80	鉄骨防火 サイディング張 平屋建 (平成 22 年)	270,25 m²	1853,53 m²
ф	分	署	〒868-0094 熊本県球磨郡相良村 大字深水 2493 番地 1	鉄筋コンクリート 平屋建 (平成元年)	217.00 m²	1,154 m²

◆ 構成市町村の概況

ひとょしし **人吉市**



〒868-0051 熊本県人吉市 麓町 16 番地

Tel 0966 (22) 2111



青井阿蘇神社と球磨川下り

人吉市は熊本県の最南部に位置 しており、南は鹿児島、宮崎の両 県に接しています。

九州の小京都と呼ばれ、「球磨川下り」「人吉温泉」「球磨焼酎」を楽しめる観光地として古くから親しまれ、また近年では、九州で唯一のポイントである球磨川でのラフティングが大きな人気を集めています。

また、市内の青井阿蘇神社が県内の建造物では初めて国宝に指定されたことに続き、JR肥薩線「SL人吉号」の復活が全国的な話題となるなど、盛り上がりを見せています。

にしきまち 錦 町



〒868-0302 熊本県球磨郡錦町 大字一武 1587番地

Tel 0966 (38) 1111



球磨川沿いのツクシイバラ

錦町は、熊本県の南部に位置 し、町の北部は人吉盆地に含ま れ、南部は九州山地の一部となっ ています。清流球磨川が東西に流 れ、初夏には河川敷に、町花であ るツクシイバラが咲き乱れます。

農業が盛んであり、南部の山麓 地帯は特産品である梨・桃、北部 の丘陸地帯はお茶の産地となっ ています。中央部では、山々から 流れる澄み切った水を用いて良 質な米が作られ、古き良き伝統を 受け継ぐ職人たちの手により、全 国的にも有名な球磨焼酎が生まれています。

さがらむら相良村



〒868-0094 熊本県球磨郡相良村 大字深水 2500 番地 1

Tel 0966 (35) 0211



清流川辺川と雨宮の森

相良村は、球磨郡のほぼ中央に位置し、清流「川辺川」が北から南へ貫流する、豊かな自然と古の先人が残してくれた歴史と伝統が息づく山紫水明の農山村です。

県内一の生産量を誇る「茶」等、 農林業が主産業であり、「水と緑 を活かした潤いある村づくり」に 取り組んでいます。また、緑に包 まれ澄んだ流れの川辺川をはじ め、四季折々の豊かな相良村の表 情を1年中楽しむことが出来ま す。

いっきむら 五木村



〒868-0201 熊本県球磨郡五木村 甲字下手2672番地7

Tel 0966 (37) 2211



五木子守唄公園

やまえむら **|||}|大**村



〒868-0092 熊本県球磨郡山江村 大字山田甲 1356 番地 1

Tel 0966 (23) 3111

山江温泉「ほたる」とマロン号

くまむら **球磨村**



〒869-6401 熊本県球磨郡球磨村 大字渡丙 1730 番地



球泉洞と急流球磨川ラフティング

五木村の自然と歴史を育んできた国道445号沿いの緑豊かな地に、くつろぎと癒しと交流の空間を提供している道の駅「子守唄の里五木」。ここには、備長炭サウナを備えた温泉館、萱葺屋根の古民家がある公園、五木村の特産を扱った物産館などの施設が揃い、道路情報や観光案内などの情報コーナーもあります。

大自然や子守唄などの観光資源を 活用し、道の駅を中心とした滞在型 観光を目指しています。

のどかな田園風景と緑豊かな山々に囲まれた自然溢れる農山村です。 農地を潤す豊かな山田川と美しく澄んだ清流の万江川を有し、肥沃な土地柄で大変おいしい米、野菜、果樹等が育ちます。

特に、万江川はヤマメや鮎などが 生息する九州でも有数な清流である とともに、盆地特有の気候を利用し て良質な栗の栽培に力を入れてお り、トップブランド化を図っていま す。

また、相良三十三観音の一つである「合戦峰観音堂」をはじめ、国指定重要文化財である「山田大王神社」や「毘沙門天立像」、産業考古学推薦産業遺産に認定された「ボンネットバス」など多くの歴史的資源に恵まれています。

球磨村は、球磨川中流部に位置する自然豊かな山村です。日本棚田百選に選ばれた「松谷」「鬼の口」棚田、3億年の神秘観光鍾乳洞「球泉洞」、スリル満点の「球磨川下り」や「ラフティング」、美肌効果の高い天然温泉「一勝地温泉かわせみ」など心ほぐれるひとときを過ごすことができます。

また、「一勝地梨」の梨畑の景観を背景に「毎床溝に育まれた農村の原風景」として評価され「日本で最も美しい村」連合に加盟いたしました。

おだやかに緩やかに「人と自然 の調和」が今も受け継がれています。

Tel 、0966(32)1111

◆ 平成26年度の主要行事

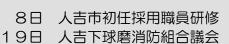


- 8日 人吉准看護学院入学者研修
- 9日 熊本県消防学校初任科第58期入校 4名
- 18日 球磨川水面利用に関する会議
- 21日 平成26年度熊本県消防長会春季総会
- 22日 第37回熊本県消防職員意見発表会



熊本県消防職員意見発表会





23日 第40回熊本県消防救助技術大会 陸上の部

31日 人吉下球磨消防組合発足40周年記念式典







発足 40 周年記念式典



10日 相良中学校職場体験学習

16日 人吉下球磨幼年消防クラブ連絡協議会総会

22日 第29回球磨郡消防ポンプ操法大会

24日 第40回熊本県消防救助技術大会 水上の部

25日 平成26年度人吉下球磨幼年婦人防火委員会総会





熊本県消防職員救助技術大会 水上の部



8日 南陵高校インターンシップ

16日 幼年消防クラブ指導者救急講習

25日 消防機関におけるドクターヘリ症例検討会

25日 危険物取扱者保安講習

30日 城南ブロック消防本部協議会予防課長会





幼年消防クラブ指導者救急講習



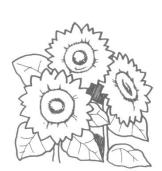
3日 第30回熊本県消防操法大会

7日 人吉高校インターンシップ

11日 初任科第58期実務研修

27日 人吉第一中学校職場体験学習

31日 人吉市総合防災訓練





人吉市総合防災訓練



7日 救急フェア2014開催

10日 人吉第二中学校職場体験学習

19日 初任科第58期査閲及び卒業式

21日 職員採用共同試験





救急フェア2014

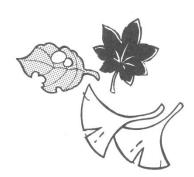


2日 職員ボランティア

9日 危険物取扱者準備講習会

16日 人吉下磨消防連絡協議会秋季会議

27日 幼年消防クラブ防火ポスター表彰式





職員ボランティア



2日 城南ブロック消防本部消防隊合同訓練

9日 平成26年秋季全国火災予防運動

11日 幼年消防クラブ防火パレード

23日 平成26年度緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練

28日 第51回熊本県救急教育セミナー





幼年消防クラブ防火パレード



4日 平成26年度久七トンネル防災訓	練
--------------------	---

5日 鍋屋本館災害対応訓練

9日 球磨工業高校インターンシップ

12日 防火啓発餅つき大会

17日 幼年消防クラブ指導者研修



久七トンネル防災訓練



5日 消防団出初式(相良村•五木村•球磨村)

6日 消防団出初式(山江村)

7日 管理者年頭訓示

11日 消防団出初式(人吉市・錦町)

25日 文化財防火デーに伴う防火訓練





文化財防火デーに伴う防火訓練



10日 平成26年人吉下球磨消防連絡協議会春季会議

13日 管理者会議

20日 人吉下球磨消防組合議会

24日 幼年消防クラブ代表者視察研修

24日 熊本県防災消防ヘリ合同訓練





熊本県防災消防へリ合同訓練



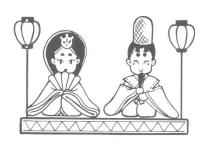
1日 平成27年春季全国火災予防運動

6⊟ 第52回熊本県救急教育セミナー

13⊟ 城南ブロック消防本部協議会特別研修

16日 人吉下球磨地域 MC 協議会

25日 消防救急デジタル無線(活動波)開局式





消防救急デジタル無線開局式

◆ 消防の沿革

◇ 消防組合前の沿革

```
昭和22年 12月 消防組織法制定公布
昭和23年 4月 人吉市役所総務課内に消防係を新設(職員数1名)
                                   水槽付消防ポンプ車購入、職員新規採用1名(職員数2名)
                                   常備消防発足、職員新規採用6名(職員数8名)
昭和24年
                         1月
昭和26年
                         1月
                                  消防ポンプ車購入(2号車)、職員新規採用8名(職員数16名)
                                  人吉市消防本部設置、初代消防長 豊永芳太郎 就任(市助役兼務)
昭和27年
                        7月
                        6月 消防ポンプ車購入(3号車)
昭和28年
昭和30年
                                  職員新規採用2名(職員数18名)
                        4月
9月 第2代消防長 内藤四郎 就任(市助役兼務)昭和33年 12月 職員新規採用3名(職員数21名)
昭和34年 9月 人吉市消防署設置
                     12月 職員新規採用6名(職員数27名)6月 職員新規採用4名(職員数31名)
昭和35年
                                  小型動力ポンプ購入
                         9月
昭和36年 10月 条例改正により定員38名となる
                      12月 第3代消防長 久保田槻生 就任(専任消防長)、司令車購入
                         1月 消防庁舎新築落成(人吉市新町16番地)
3月 消防無線設置(基地局1・移動局1)
昭和37年
                         1月 職員欠員補充2名
3月 消防ポンプ車(ニッサン)日本損害保険協会から寄贈
昭和39年
3月 月間 カンノ軍 (ニッソノ) 日本東日本 (1000円) 1000円 10
昭和43年
                        4月 職員欠員補充1名
昭和44年
                        9月 第4代消防長 鳥飼雄吉 就任(市助役兼務)
                                   職員欠員補充2名
昭和45年
                        1月
                         4月
                                  職員欠員補充2名
                      11月 水槽付消防ポンプ車(1号車) 更新
昭和46年 4月 救急車(A級)日本損害保険協会から寄贈
                      職員新規採用3名(職員数41名)
11月 消防無線狭帯化に伴い無線機を更新
                       1月 職員新規採用1名(職員数42名)
9月 消防ポンプ車(3号車)更新
昭和47年
 昭和48年 5月 職員欠員補充1名
                       10月 救急車(ニッサン) 購入
```

◇ 消防組合の沿革

<u> </u>	<u> </u>	1~/ ル キ
昭和49年	4月	人吉下球磨消防組合消防本部・中央消防署発足(人吉市から職員42名、消防車5台、救急車2台)
		初代消防長 上原 茂 就任
		職員新規採用12名(職員数54名)
		熊本県消防学校初任科12名入校
	7月	職員新規採用12名(職員数66名)
		熊本県消防学校初任科12名入校
		中央消防署西分署(球磨村)仮庁舎にて業務開始、消防車(球磨村から譲渡)1台・西分署職員数7名
		司令車(三菱コルト)一部負担、県消防協会から寄贈、中央消防署に配備
	10月	中央消防署東分署(錦町)仮庁舎にて業務開始、消防車(錦町から譲渡)
		1台・東分署職員数7名
		中央消防署北分署(五木村)仮庁舎にて業務開始、積載車(五木村から譲渡)1台・北分署職員数7名
	12月	救急車(ニッサンキャラバン2B)日本自動車工業会から寄贈、北分署に配備・救急業務開始
昭和50年		東・西分署新庁舎落成、新庁舎にて業務開始
		救急車(ニッサンキャラバン2B)購入、西分署に配備・救急業務開始
	3月	救急車(ニッサンキャラバン2B)日本損害保険協会から寄贈、東分署に配備・救急業務開始
		職員新規採用13名(職員数79名)
		熊本県消防学校初任科13名入校
	12月	広報車(ニッサングロリア)購入、中央消防署に配備
		梯子付消防ポンプ車(森田24标級)購入、中央消防署に配備
昭和51年	9月	水槽付ポンプ車(森田・三菱、水槽1.5 t)2台購入、東・西分署に配備
		消防ポンプ車(日機・トヨタ)日本損害保険協会から寄贈、中央消防署に配備
昭和52年		第2代消防長 竹本 望 就任
		救急車(ニッサンキャラバン2B)日本消防協会から寄贈、中央消防署に配備
		広報車(ニッサンブルーバードGL・1.600cc)2台購入、東・西分署に配備
		消防大学校予防科 1名入校
	11月	消防ポンプ車(森田・三菱、水槽1.5 t)購入、北分署に配備
		北分署積載車を資機材搬送車に改造し、中央署に配備
昭和53年	4月	消防大学校警防科 1名入校
1		消防ポンプ車(ニッサン)1台購入、中央消防署に配備
		100000000000000000000000000000000000000

		広報車(ニッサンブルーバードGL・1,600cc)北分署に配備
昭和54年		消防大学校救急科 1名入校 大家的大学校教会科 1名入校
加加		査察広報車(トヨタマークIIGL 1,800cc)消防本部に配備
品利の中		救急車(ハイエース2B) 県農協共済連から寄贈
		消防大学校上級幹部科 1名入校
四和56年		救助工作車(日機)1台購入、中央消防署に配備 広報車(トヨタマークⅡ乗用車)購入、消防本部に配備
	IIA	防火広報車(トヨタターグェ来用車)購入、肩脚本部に配備 防火広報車(トヨタ9人乗り) (財)日本防火協会から寄贈
昭和57年	3月	
		消防組合消防職員定数条例改正、職員定数85人とする
		消防職員欠員補充1名、新規採用6名 (職員数85名)
		救急車(ニッサン2,000cc) 日本消防協会から1台寄贈 北分署に配備
		消防大学校予防科 1名入校
		水槽付ポンプ車(ドライケミカル・日野、水槽2 t)中央署に配備
	11/5	第8回九州地区消防駅伝大会優勝(於:福岡市)
四和58年	48	熊本県消防学校初任科7名入校
		人吉下球磨幼年消防クラブ連絡協議会設立 (15団体、1,250人)
	1 1/3	第9回九州地区消防駅伝大会優勝(於:伊万里市)
昭和59年	3日	救急車(トヨタ2B)西分署に配備
		第3代消防長 山本澄雄 就任
昭和60年		救急車(トヨタ2B)東分署に配備
-5,555 F		救急車(トヨタ2B)県農協共済連から寄贈
		人員搬送車(ニッサンマイクロバス3,300cc)サンロードから寄贈、中央署に配備
		第4代消防長 岩本康資 就任
	0,5	消防大学校上級幹部科 1名入校
	11月	消防ポンプ車(日本ドライケミカル・三菱)中央署に配備
	,,	人吉下球磨幼年消防大会開催(18団体 1,398人)
昭和61年	4月	職員欠員補充2名、熊本県消防学校初任科2名入校
		消防大学校救急科 1名入校
昭和62年	1月	指揮車 (ハイエースバン2,400cc) 中央署に配備
		消防大学校救助科•幹部研修科 各1名入校
		救急車(トヨタ2B)日本消防協会から寄贈、中央署に配備
昭和63年		職員欠員補充2名、熊本県消防学校初任科2名入校
		消防大学校予防科 1名入校
平成元年		職員欠員補充1名、熊本県消防学校初任科1名入校
		消防庁舎新築移転(人吉市下林町1番地)業務開始
		相良分遣所開設(分遣所職員数8名体制)、3課1室に機構改革
		消防緊急情報システム(Ⅱ型)導入
	10月	消防組合消防職員定数条例改正、職員定数91名
		職員新規採用6名(職員数91名)
		九州縱貫高速自動車道開通 救急業務開始
平成2年		消防大学校幹部研修科 1名入校
	4月	救急車(トヨタ2B) 侑岩下産業から寄贈 中央署に配備
		職員欠員補充1名
	0.0	熊本県消防学校初任科3名入校
		第19回全国消防救助技術大会出場(広島市)救援物資搬送
	11月	消防大学校警防科 1名入校 2.45000000000000000000000000000000000000
	40-	第1回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
		事務連絡車(ニッサングロリア1,990cc)購入、消防本部に配備
平成3年		査察車(トヨタカローラ1,290cc)購入、消防本部に配備
	3月	救急車(ニッサン2B)安田生命から寄贈、相良分遣所に配備
	1 🗆	救助資機材レスキューツール(ホルマトロ社製)中央署に配備 水増付ポンプ東(A TELL DAドラスケンカルコ業)東公署に配供
	4月	水槽付ポンプ車(A-Ⅱ型・日本ドライケミカル三菱)東分署に配備 開号なるは名、能大県当時が初任刊2名 3 th
	0.0	職員欠員補充1名、熊本県消防学校初任科3名入校 14 大切 15 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1
	Ö月	水槽付ポンプ車(吉谷機械製作所・いすゞ1.5 t)日本損害保険協会から 寄贈 西分署に配備
		奇照 四万者に156 消防大学校救助科 1名入校
	10B	河町八字校牧町村 1名人校 広報車(ニッサンアベニール1,590cc)購入、東分署に配備
		公報車(ニッサラアベニール 1,390cc) 購入、東方者に配備 第2回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
平成4年		第2回事業的对抗「星內有久性採出規及人去」開催 熊本県消防学校初任科2名入校
1 /2/74		第18回熊本県救助技術大会(水上の部)開催
		第21回九州地区救助技術指導会(陸上・水上の部)開催
		第21回全国消防救助技術大会出場 救援物資搬送 (千葉市)
		職員欠員補充1名
	/J	第3回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
	12月	広報車(ニッサンADワゴン 1,500cc) 購入、西分署に配備
平成5年		消防大学校予防科 1名入校
''''		消防ポンプ車(A-Ⅱ型・いすゞ 3,600cc) 北分署に配備
		週40時間制勤務試行(隔日勤務者、8週16休)
	ЗĦ	
		熊本県消防学校初任科1名入校
	4月 7月	熊本県消防学校初任科1名入校 完全週休2日制へ移行
	4月 7月	熊本県消防学校初任科1名入校

```
11月 第4回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
平成6年
      3月
        高規格救急車(トヨタハイメディック4,000cc)中央署に配備
        救急指導車(トヨタ4,000cc)岩下産業から寄贈、中央署に配備
      6月
         第23回全国消防救助技術大会出場(京都府)ロープブリッジ救出
      8月
     10月 消防組合発足20周年記念式典
     11月 第5回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
平成7年
      1月 第5代消防長 高橋昭三 就任
         消防大学校警防科1名入校
        定数条例改正(91名を103名へ)
      3月 2部制勤務より3部制勤務へ移行
         水槽付ポンプ車(A-Ⅱ型・日本ドライケミカル日野1.5 t)相良分遣所へ配備
         機構改革(消防本部警防課を廃止し企画情報課に、中央署に消防課設置)
         職員新規採用3名(救急救命士1名採用 職員数94名)
         職員欠員補充1名
         中央署予備ポンプ車廃車、管内保育園へ寄贈
         第21回熊本県救助技術大会(水上の部) 開催
        加久藤トンネル防災訓練・九州自動車道人吉~えびの間供用開始
救急車(ニッサン 3,000cc)JA共済連から寄贈 東分署に配備
         東分署仮眠室全面改装(ベッド設置)
        第1回「救急フェア'95」開催
        職員研修(講師:東京消防庁 西形國夫氏)
第6回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
     10月
     12月 欠員補充1名(職員数94名)
         事務連絡車(フォード1,800cc)(㈱Misumiから寄贈
巨人軍宮本投手「一日消防長」開催
平成8年
      1月
         資機材搬送車(いすゞ 2 t ロング 4,300cc) 中央署に配備
         警察・消防合同「毒劇物漏洩事故訓練」実施
      3月 第1回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ '96」開催
         原野火災防御訓練実施
      4月
        職員新規採用3名(救急救命士1名採用、職員数97名)
         職員欠員補充3名
         職員研修会(講師:熊本日本電気㈱社長 新川高信氏)
         司令車更新(トヨタ 2,000cc)中央署に配備
      7月 職員研修会(講師:郷土史家 前田一洋氏)
         東京消防庁派遣実務研修(本庁予防部調査課へ2名)
      9月 第2回「救急フェア '96」開催
     10月 東京消防庁派遣実務研修(杉並消防署へ2名)
     11月 西分署事務室及び仮眠室全面改装(ベッド設置)
         第7回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
平成9年
      1月 巨人軍宮本投手・柏田投手「一日消防長」開催
         消防大学校予防科 1名入校
      2月 職員欠員補充2名 (職員数97名)
         職員研修会 • 「一日消防長」開催、中村祐二選手
         東京消防庁派遣実務研修(杉並消防署へ2名)
         化学消防車購入(三菱 8,200cc A-Ⅱ型
                                 日本造機)中央署に配備
         北分署救急車更新(トヨタ 3,000cc 2B)
         第2回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ '97」開催
         高規格救急車(トヨタ ハイメディック)(社)日本損害保険協会から寄贈
         更新による廃車救急車2台、管内医師会へ寄贈
         高規格救急車(トヨタ ハイメディック)東分署へ配備
         北分署庁舎新築移転(仮庁舎)
      4月 職員新規採用3名(職員数99名)
         熊本県消防学校初任科7名入校
         熊本県消防学校派遣教官出向1名
      5月 職員研修会(講師:消防行政懇話会会長 澤田宏氏)
      6月 職員研修会(講師:東京消防庁 田口満穂氏)
         東京消防庁杉並消防署と友好協力関係確認書の取り交し
         消防活動二輪車隊「レッドアタッカー」発足
                                 (ホンダ車5台)
         職員欠員補充1名(職員数100名)
      8月
         第26回全国消防救助技術大会出場(千葉市)救援物資搬送
      9月 第3回「救急フェア '97」開催
         熊本県総合防災訓練(錦町にて)
     10月 加久藤トンネル防災訓練
         東京消防庁派遣実務研修(本庁・品川消防署へ2名)
         東京消防庁派遣実務研修(杉並消防署へ2名)
東京消防庁派遣実務研修(本庁・深川消防署へ2名)
     11月 第8回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
         東京消防庁派遣実務研修(杉並消防署へ2名)
         東京消防庁派遣実務研修(本庁・大井消防署へ2名)
         職員研修会(講師:前錦町長 松田 栄氏)
職員研修会(講師:人吉高校教諭 森 英和氏)
        職員研修会(講師:東京消防庁 岡崎
```

```
職員研修会(講師:東京消防庁 佐々尾 滋氏)
平成10年
      1月
        巨人軍柏田投手 • 柳沢捕手「一日消防長」開催
      2月
        東京消防庁派遣実務研修(杉並消防署へ2名)
        第3回消防組合出初式「消防メモリアルフェスタ '98」開催
        職員新規採用3名(職員数103名)
      4月
        職員欠員補充1名
        熊本県消防学校初任科6名入校
        熊本県消防学校派遣教官出向1名
職員研修会(講師:NTT熊本 高波静子氏)
      6月
        九州地区消防救助技術指導会出場(宮崎県日向市)
      7月
      8月
        |職員研修会(講師:熊本トヨタ 山河氏)ハイブリッド車について
      9月 熊本県消防職員剣道大会(球磨郡錦町)
        第4回「救急フェア '98」開催
        職員研修会(講師:東京消防庁
                         竹内一寿氏)
     10月
        東京消防庁派遣実務研修(城東消防署へ2名)
     11月 第9回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
        東京消防庁派遣実務研修(江戸川消防署へ2名)
        東京消防庁派遣実務研修(本庁・池袋消防署へ1名)
        東京消防庁派遣実務研修(豊島消防署へ2名)
     12月 肥後トンネル防災訓練
        消防行政懇話会視察研修(西諸広域行政組合)
平成11年
        元巨人軍投手 宮本和知氏を迎えて「一日消防長」開催
      3月 梯子付消防自動車(モリタ30流級)購入、中央消防署に配備
        第4回消防組合出初式「メモリアルフェスタ '99」開催
        東京消防庁派遣実務研修(小石川消防署へ2名)
        原野火災防御訓練
        熊本県広域消防応援防災訓練
      4月 熊本県消防学校初任科4名入校
        職員2名採用
        熊本県消防学校派遣教官出向1名
        職員研修会(講師:東京消防庁 新井雄治氏)
      6月 職員1名採用
        第28回九州地区消防救助技術指導会出場(福岡市)
        第28回全国消防救助技術大会出場(横浜市)複合検索1名
        熊本県消防職員剣道大会(球磨郡錦町)
        第5回「救急フェア'99」開催
     10月 救急救命九州研修所入所 1名
        東京消防庁派遣実務研修(中野消防署1名・荻窪消防署1名)
        東京消防庁派遣実務研修(蒲田消防署1名·矢口消防署1名)
消防大学校警防科 1名入校
     11月 相良分遣所を中分署に昇格
        東京消防庁派遣実務研修(赤坂消防署1名・高輪消防署1名)
        第10回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
        水槽車(6,800%)
                   中央署に配備
      1月
        職員1名採用
平成12年
        東京消防庁派遣実務研修(新宿消防署へ2名)
        第5回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2000」開催
      3月
        熊本県消防学校初任科3名入校
        熊本県消防学校派遣教官出向1名
        |高規格救急車(ニッサン パラメディック)中分署へ配備
      6月 職員研修会(講師:東京消防庁 長嶋敏昭氏)
        第29回九州地区消防救助技術指導会出場(熊本市)
      7月
        第29回全国消防救助技術大会出場(熊本市)水中結索1チーム
      8月
        熊本県消防職員剣道大会(球磨郡錦町)
        第6回「救急フェア 2000」
        北分署水槽付ポンプ車配備
     10月
        職員研修会(講師:熊本市消防局 橋本 孝氏)
     11月
        加久藤トンネル防災訓練
        第11回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
     12月
        東京消防庁派遣実務研修(城東消防署へ2名)
        職員研修会(講師:NTT東日本 田口満穂氏)
        東京消防庁派遣実務研修(八王子消防署へ2名)
        東京消防庁派遣実務研修(豊島消防署へ2名)
平成13年
        東京消防庁消防学校入校(予防技術・警防指導へ2名)
        第6回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2001」開催
        職員研修会(講師:東京消防庁 岡崎 翼氏)
        東京消防庁派遣実務研修(練馬消防署へ2名)
        職員研修会(講師:全市議事務総長 佐藤達三氏)
        熊本県消防学校教官出向1名
        熊本県消防学校初任科2名入校
        消防大学校本科 1名入校
        第30回九州地区消防救助技術指導会出場(沖縄県)
```

```
8月 第30回全国消防救助技術大会出場(東京都)水中結索1チーム
        熊本県消防職員剣道大会(球磨郡錦町)
        熊本県知事救急功労賞表彰授与
        第7回「救急フェア 2001」 開催
救助工作車(日野 8,000cc)購入、中央署に配備
        雑居ビル特別査察実施
     10月 救急救命九州研修所 1名入所
     11月 消防緊急指令装置(Ⅱ型)更新
        水槽付ポンプ車(日野 8,000cc A-Ⅱ型)日本損害保険協会から寄贈 中央署に配備
        第12回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
        東京消防庁派遣実務研修(装備工場へ1名)
        沖縄市消防本部へ消防実務研修 1名
        沖縄市消防本部より消防実務研修 1名
        第27回九州地区消防駅伝大会優勝(於:宮崎市)
平成14年
      1月 消防大学校予防科、救急科 各1名入校
        東京消防庁派遣実務研修(城東消防署へ2名)
        東京消防庁派遣実務研修(三鷹消防署へ3名)
        東京消防庁派遣実務研修(世田谷消防署へ1名)
        東京消防庁消防学校入校(建築・設備課程へ1名)
      2月 東京消防庁消防学校入校(査察・防火管理課程へ1名)
        職員研修会(講師:東京消防庁 川上克己氏)
第7回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2002」開催
      3月 東京消防庁派遣実務研修(武蔵野消防署へ2名)
      4月 熊本県消防学校初任科3名入校
        消防大学校本科 2名入校
        熊本県消防学校教官出向1名
        消防大学校警防科 1名入校
      8月 第31回九州地区消防救助技術指導会出場(大分市)
        第31回全国消防救助技術大会出場(名古屋市)水中結索1チーム
        熊本県消防職員剣道大会(球磨郡錦町)
第8回「救急フェア 2002」 開催
      9月
     10月 消防大学校幹部研修科 1名入校
        救急救命九州研修所 1名入所
        第5回熊本県下消防大規模災害対応訓練(人吉市)
        職員研修会(講師:消防大学校副校長 秋山惠氏)
平成15年 11月 第13回事業所対抗「屋内消火栓操法競技大会」開催
      1月 消防大学校救急科 1名入校
        東京消防庁派遣実務研修(予防実務・麹町消防署へ2名)
        東京消防庁派遣実務研修(西新井消防署へ2名)
      2月 沖縄市消防本部へ消防実務研修 1名
        沖縄市消防本部より消防実務研修 1名
        東京消防庁派遣実務研修(四谷消防署へ2名)
        東京消防庁派遣実務研修(装備工場へ1名)
        東京消防庁派遣実務研修(青梅消防署へ2名)
      3月 第8回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2003」開催
      4月 熊本県消防学校教官出向1名
        消防大学校本科 2名入校
        消防大学校幹部研修科 1名入校
        救急救命九州研修所 1名入所
        職員研修会(講師:メンタルケア「こ・こ・ろ」 廣瀬友美氏)
        消防大学校警防科 1名入校
        第32回九州地区消防救助技術指導会出場(佐賀市)
      7月
      8月
        熊本県消防職員剣道大会(球磨郡錦町)
        第32回全国消防救助技術大会出場 (仙台市)水中結索1チーム・水中検索救助1チーム
      9月 高規格救急車(トヨタハイメディック 3,400cc) 西分署へ配備
        第9回「救急フェア 2003」開催
        消防大学校幹部研修科 1名入校
     10月
        第14回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
     11月
        消防大学校危機管理セミナー1名受講
        東京消防庁派遣実務研修(石神井消防署へ2名)
        熊本県救急教育セミナー開催
     12月
平成16年
        東京消防庁派遣実務研修(池袋消防署へ2名)
      1月
        東京消防庁派遣実務研修(荻窪消防署へ2名)
        職員研修会(講師:東京消防庁 伊藤克己氏)
        消防大学校救急科 1名入校
        東京消防庁派遣実務研修(装備工場へ2名)
        消防組合発足30周年記念式典及び第9回消防組合出初式「メモリアルフェスタ2004」開催
        東京消防庁派遣実務研修(杉並消防署へ2名)
        定数条例改正 105名
        消防大学校本科 2名入校
        救急救命九州研修所 1名入所
```

```
熊本県消防学校初任科3名入校
         職員研修会(講師:レベッカ・マッカーシー氏・柳田香利氏)
職員研修会(講師:NTTコミュニケーションズ㈱ 宮本昌征氏)
         九州地区消防職員意見発表会出場
      6月 第33回九州地区消防救助技術指導会出場(鹿児島県国分市)
      8月 南九州消防職員親善剣道大会(球磨郡錦町)
         第33回全国消防救助技術大会出場(兵庫県三木市)
         ロープブリッジ救出1チーム・ロープ登はん1名・水中結索1チーム
         消防大学校救急科 1名入校
      9月
     第10回「救急フェア 2004」開催
10月 消防大学校幹部研修科 1名入校
         東京消防庁派遣実務研修(赤坂・蒲田消防署へ2名)
         第15回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
         東京消防庁派遣実務研修(赤坂・蒲田消防署へ2名)
         職員研修会(講師:東京消防庁 荒井伸幸氏)
平成17年
      1月 第6代消防長 高澤敏雄 就任
         消防大学校救急科 1名入校
         参議院総務委員会が視察のため来署
         消防大学校危機管理セミナー1名受講
         第10回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2005」開催
      4月 定数条例改正 111名
         熊本県防災消防航空隊出向1名
         熊本県消防学校初任科3名入校
         消防大学校幹部研修科 1名入校
         職員研修会(講師:熊本県市町村職員共済組合 年金課長 山下通生氏)
         第34回九州地区消防救助技術指導会出場(長崎県長崎市)
         第34回全国消防救助技術大会出場(埼玉県さいたま市)
      8月
         ロープブリッジ救出1チーム・水中検索救助1チーム
         第11回「救急フェア 2005」開催
         職員研修会(講師:都市情報システム研究所 所長 茶谷達雄氏)
         消防大学校予防科 1名入校
救急救命九州研修所 1名入所
     10月
         第16回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
        職員研修会(講師:郷土史家 渋谷 敦氏)
第11回消防組合出初式「メモリアルフェスタ 2006」開催
     12月
平成18年
      3月
         熊本県消防学校初任科5名入校
         職員研修会(講師:熊本人権センター(中富泰男氏)
      5月
      6月
         消防大学火災調査科 1名入校
         第35回九州地区消防救助技術指導会出場(宮崎市)
      7月
         職員研修会(講師:県議会議員 松田三郎氏)
      8月
         第35回全国消防救助技術大会出場(札幌市)
         ロープブリッジ救出・ほふく救出各1チーム・水中結索1チーム
         第12回「救急フェア 2006」開催
         救急救命九州研修所 1名入所
消防大学校危険物科 1名入校
     10月
         第17回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
         職員研修会(講師:菊池広域連合消防本部 高村雅生氏)
平成19年
         防災研修車(ニッサンマイクロバス3,000cc)藤田株式会社から寄贈
         職員研修会(講師:県議会議員 溝口幸治氏)
      2月
      3月 第12回消防組合出初式「メモリアルフェスタ
                                  2007 | 開催
         第7代消防長 竹田文郎 就任
         熊本県消防学校初任科7名入校
         全国消防長会総務委員会(人吉市)
         職員研修会(講師:熊本人権センター 中富泰男氏)
         第36回九州地区消防救助技術指導会出場(北九州市)
         第36回全国消防救助技術大会出場(東京都)水中結索1チーム
         第13回「救急フェア 2007」開催
消防大学校救急科 1名入校
         救急救命九州研修所 1名入所
         職員研修会(講師:人吉市長 田中信孝氏)
     10月
         第18回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
     11月
         職員研修会(講師:画家 坂本福治氏)
職員研修会(講師:東京消防庁 小森身智世氏)
平成20年
         消防大学校新任教官科 1名入校
         職員意見発表会
         第8代消防長 中村俊博 就任
         熊本県消防学校派遣教官出向1名
         救急救命東京研修所 1名入所
      4月 熊本県消防学校初任科2名入校
      6月
         スバル(プレオ)退職者から寄贈
      7月
         第37回九州地区消防救助技術指導会出場(沖縄県北谷町)
         第37回全国消防救助技術大会出場(北九州市)水中結索1チーム・水中検索救助1チーム
```

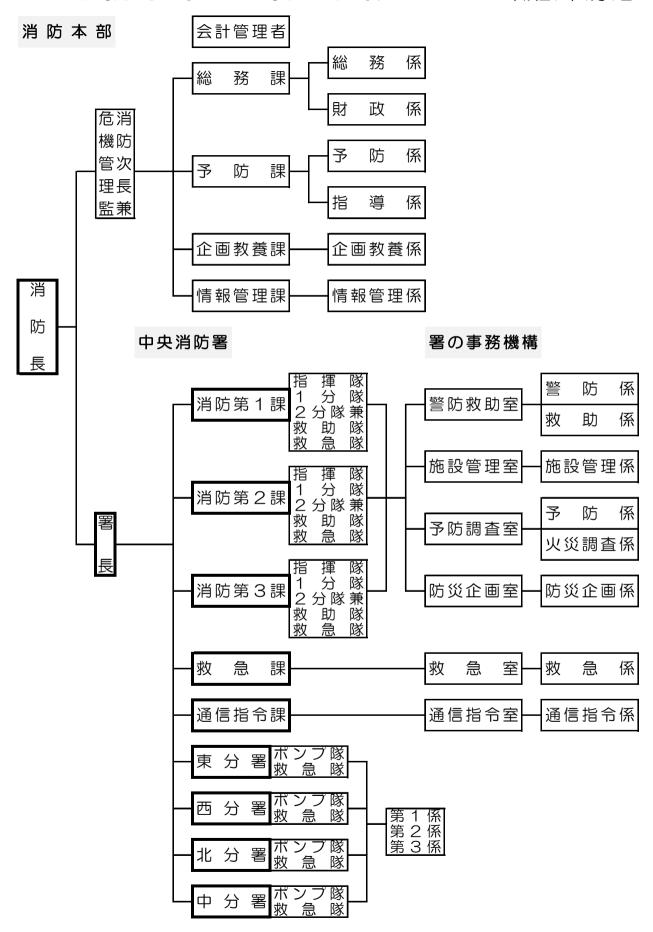
```
熊本県消防学校警防科(2名入校)
      9月 第14回「救急フェア 2008」 開催
        熊本県消防学校救助科 2名入校
     11月 第19回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
         人吉下球磨幼年消防クラブ発足25周年式典
         熊本県消防学校初級幹部科 2名入校
        熊本県消防学校救急科 3名入校
     12月
平成21年
      1月 職員研修会(講師:人吉市文化財保護委員 井上道代 氏)
      2月 城南ブロック消防本部協議会職員特別研修会(講師:熊本市民病院副院長 岳中耐夫 氏)
      3月 職員意見発表会
        広報車(日産ティーダ)配備
        第9代消防長 原一幸 就任
        熊本県消防学校初任科 3名入校
        第38回九州地区消防救助技術指導会出場(熊本県消防学校)
      8月 第38回全国消防救助技術大会出場(横浜市)水中結索1チーム
         消防大学校幹部科1名入校
      9月 第15回「救急フェア 2009」開催
        救急救命九州研修所 1名入所
     10月 緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練(佐賀市嘉瀬川河川敷)
        熊本県消防学校救助科 2名入校
第20回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
     12月 九州地区警防実務研修 1名入校(福岡県消防学校)
        熊本県消防学校中級幹部科 2名入校
平成22年
     2月
        職員研修(講師:人吉市役所 志岐晃 氏)
      3月 職員意見発表会
         中央消防署北分署新庁舎落成式
        第10代消防長 犬童利夫 就任
熊本県消防学校初任科6名入校
      7月 第39回九州地区消防救助技術指導会出場(大分市)
      8月 第39回全国消防救助技術大会出場(京都市)ロープブリッジ救出1チーム
         消防大学校救助科 1名入校
        |第16回「救急フェア 2010」開催
        救急救命九州研修所 1名入所
        緊急消防援助隊九州ブロック合同訓練(薩摩川内市)
        第21回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
         熊本県消防学校救助科 2名入校
     12月
        久七トンネル訓練(伊佐市久七TN内)
      1月 熊本県消防学校救急科 3名入校
平成23年
      3月 職員意見発表会
        東日本大震災緊急援助隊現地派遣1、2次隊 10名
         (宮城県仙台市 若林区、宮城野区)
        東分署及び北分署に高規格救急車(トヨタハイメディック)配備
      4月 第11代消防長 槻木孝至 就任
        熊本県防災消防航空隊出向1名
         熊本県消防学校初任科9名入校
      6月 職員研修会(講師:元神戸市消防局 中谷満 氏)
        予防査察車(日産ティーダ)配備
        第17回「救急フェア 2011」開催
         救急救命九州研修所 1名入所
     10月 熊本県消防長会秋季総会(人吉市)
        熊本県消防学校中級幹部科 2名入校
        消防大学校警防科 1名入校
        消防大学校火災調查科
                     1名入校
        消防大学校幹部科 1名入校
     11月 第22回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
        熊本県消防学校救助科 2名入校
        熊本県消防学校救急科 3名入校
平成24年
      1月
        職員意見発表会
         職員研修会(講師:東京消防庁 竹泉聡 氏)
         久七トンネル訓練(伊佐市久七TN内)
      4月 第12代消防長 中村憲和 就任
        熊本県消防学校初任科3名入校
      5月
        消防大学校危険物科 1名入校
      6月 消防大学校幹部科 1名入校
      7月 第41回九州地区消防救助技術指導会(日置市)
        消防大学校予防科 1名入校
      8月
      9月
        第18回「救急フェア 2012」開催
     救急救命九州研修所 1名入所
10月 熊本県消防学校救助科 2名入校
     11月
        第23回事業所対抗「屋内消火栓操法指導会」開催
```

熊本県消防学校警防科 2名入校 12月 熊本県消防学校初級幹部科 2名入校 熊本県消防学校救急科 3名入校 平成25年 1月 第21回全国救急隊員シンポジウム一般発表 職員意見発表会 3月 職員研修会(講師:高崎市等広域消防局 田中治夫 氏) 消防救急デジタル無線(共通波)開局式 2月 資器材搬送車 (三菱キャンター) 総務省消防庁より無償使用制度を活用し配備 4月 第13代消防長 冨田清一 就任 定数条例改正 109名 熊本県消防学校初仟科5名入校 5月 消防大学校救急科 1名入校 6月 消防大学校幹部科1名入校 9月 第19回「救急フェア 2013」開催 熊本県消防学校初任科5名入校 10月 消防大学校警防科 1名入校 熊本県消防学校救助科2名入校 11月 高速道路トンネル(加久藤)防災訓練 久七トンネル防災訓練 1月 指定文化財查察(10年毎) 平成26年 熊本県消防学校救急科 5名入校 職員研修会(講師:熊本大学副学部長 鈴木桂樹 氏) 中央署に高規格救急車(トヨタハイメディック)配備 消防大学校新任教官科 1名入校 4月 熊本県消防学校初任科 4名入校 熊本県消防学校教官出向1名 消防大学校救助科 1名入校 5月 人吉下球磨消防組合発足40周年記念式典 消防大学幹部科第37期 1名入校 事務連絡車(スバルインプレッサ)配備 6月 警防業務リーダー講習会 1名 9月 第20回「救急フェア 2014」開催 10月 熊本県消防学校救助科第35期 2名入校 熊本県消防学校救急科 5名入校 職員研修会(人吉下球磨:土肥和浩 水俣芦北広域:松本光義 八代広域:上田晶) 平成27年 1月 3月 中央署にCAFS(水I-B型 A-I級 日野レンジャー 6,400cc)配備 消防救急デジタル無線 (活動波) 開局式

◆ 消防組合の組織

組合執行機関 組合 議 会 監 査 委 員 管 者 議 長 理 知識経験者 代表副管理者 議 副 長 議会選出者 副 議 者 理 員 人 市 長 人吉市 3人 錦 町 1人 錦 1人 五木村 錦 町 長 町 1人 1人 相 良 村 長 相良村 村 長 1人 五 木 五木村 Ш 1人 江 村 長 山江村 球 長 球磨村 1人 磨 村 ※建制順

◆ 消防本部及び署の組織



◆ 消防本部及び消防署の事務分掌

1 消防本部の事務分掌

	総務係	1 本部及び消防署の組織に関すること。 2 公印に関すること。 3 職員の任免、服務、賞罰及び人事に関すること。 4 議会に関すること。 5 文書の収発及び図書に関すること。 6 職員の福利厚生、共済その他保健に関すること。 7 消防賞じゅつに関すること。 8 条例、規則及び規程等の整備に関すること。 9 庁舎の維持管理に関すること。 10 物品及び貸与品に関すること。 11 寄附の採納に関すること。 12 公告式に関すること。 13 その他総務一般に関すること。
	財務係	 1 監査に関すること。 2 予算、決算に関すること。 3 地方債に関すること。 4 地方交付税に関すること。 5 財政状況の公表に関すること。 6 財産の取得、処分及び管理に関すること。 7 契約に関すること。 8 組合経費に関すること。 9 給与の計算及び支給に関すること。 1 との他財政一般に関すること。 1 その他財政一般に関すること。
予防課	予 防 係	 1 予防査察に関すること。 2 危険物の許可、認可及び指導取締りに関すること。 3 危険物及び指定可燃物の規制に関すること。 4 消防法第9条の3に係る届出及び液化石油ガスの貯蔵取扱に係る意見書に関すること。 5 火薬類取締法に基づく煙火の消費に係る事務に関すること。 6 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律に基づく液化石油ガス設備工事の届出及び立入検査に関すること。 7 その他予防指導に関すること。

予防課	指導係	1 防火対象物の立入検査及び措置命令に関すること。 2 防火対象物の防火管理の指導に関すること。 3 建築物の許可、認可及び確認の同意に関すること。 4 防火管理者の講習及び教育指導に関すること。 5 消防用設備等に関すること。 6 家庭防火班の育成指導に関すること。 7 防火思想の普及指導及び広報に関すること。 8 課内の他係に属しないこと。
	企画教養係	1 式典、儀礼等の企画に関すること。 2 陳情、請願及び投書の処理に関すること。 3 表彰に関すること。 4 消防行政の企画及び調整に関すること。 5 職員の研修教養に関すること。 6 年報に関すること。 7 広報並びに広聴に関すること。 8 防災計画及び訓練計画等の作成に関すること。 9 消防相互応援及び出動計画に関すること。 1 0 職員の福利厚生等の立案企画に関すること。 1 1 消防長会及び消防協会に関すること。 1 2 消防連絡協議会に関すること。 1 3 防火委員会に関すること。 1 4 幼年、婦人消防クラブ等の育成及び指導に関すること。 1 5 その他企画教養一般に関すること。
情報管理課	情報管理係	1 情報公開の開示に関すること。 2 情報システムの維持管理に関すること。 3 消防情報の収集、記録、広報及び連絡調整に関すること。 4 情報技術の指導及び調査研究に関すること。 5 消防統計に関すること。 6 気象情報、災害情報に関すること。 7 救急医療情報に関すること。 8 国、県及び市町村の災害情報等に関すること。 9 その他情報管理一般に関すること。

2 消防署の事務分掌

			1 防災計画に関すること。
		<u>荀</u> 攵	2 防災警備に関すること。
		警防係	3 消防演習その他消防訓練に関すること。
	数	Ж	4 消防地理及び水利に関すること。
	警防救助室		5 その他警防業務一般に関すること。
	助室		1 救助業務に関すること。
消		救	2 救助技術の研究、指導及び訓練に関すること。
		救 助 係	3 消防隊員の安全管理に関すること。
			4 特殊災害の調査及び研究に関すること。
			1 消防機器等の補充、改善及び研究並びに維持管理に関すること。
	施設管理室	+ / -	2 消防機器等の整備計画及び整備に関すること。
		施設等	3 庁舎の維持管理及び補修に関すること。
D+		施設管理係	4 消防自動車等の登録及び検査に関すること。
防	土)TN	5 消防用燃料に関すること。
			6 機関員の技能管理に関すること。
			1 防火対象物の予防査察に関すること。
			2 予防関係諸届出の指導に関すること。
		予防係	3 危険物及び指定可燃物の保安取締に関すること。
			4 自衛消防隊の指導育成に関すること。
課	予	亦	5 火災予防対策に関すること。
	予防調査室		6 劇場等の定員規制及び予防警備に関すること。
	査室		7 その他予防業務一般に関すること。
			1 火災の原因及び損害の調査に関すること。
		火災調査係	2 火災報告及び火災統計に関すること。
		調査	3 り災証明に関すること。
		が	4 その他火災調査業務一般に関すること。

			1	消防、防災の相談及び指導に関すること。
			2	消防広報に関すること。
▮消			3	自主防災組織の指導育成に関すること。
			4	防災学習の指導に関すること。
	防	防	5	消防職員及び団員の訓練に関すること。
防	防災企画室	防災企画係	6	消防職員の教養研修に関すること。
	室	係	7	職場体験学習に関すること。
			8	情報システムの維持管理及び整備に関すること。
課			9	消防情報の部内調整に関すること。
			10	災害情報の収集及び記録に関すること。
			11	情報技術の研究に関すること。
			1	救急業務に関すること。
			2	救急隊の運用計画及び訓練に関すること。
			3	救急隊の安全対策に関すること。
救	救	救	4	救急技術の調査及び研究に関すること。
急	急	急	5	救急報告及び救急統計に関すること。
課	室	係	6	応急手当の普及に関すること。
			7	医療関係機関との連絡調整に関すること。
			8	地域メディカルコントロール協議会に関すること。
			9	その他救急事務一般に関すること。
			1	消防通信施設等の整備及び維持管理に関すること。
			2	通信技術の指導に関すること。
 	诵	诵	3	消防通信の受理及び連絡に関すること。
通信指令課	通信指令室	通信指令係	4	出動の指令に関すること。
■令課	令室	令係	5	消防気象に関すること。
			6	警報の発令に関すること。
			7	その他通信業務一般に関すること。

◆ 職員の配置状況と階級別現員

		総計	消防監	消 防司令長	消防司令	消 防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
総計		109	1	5	14	22	15	15	37
	計	26(8)	1	4(4)	3	3	1	4(1)	10(1)
	消防長	1	1						
	消防次長	1		1					
消	危機管理監	(1)		(1)					
防	首席審議員	3		3					
本部	会計管理者	(1)		(1)					
	総 務 課 (含総務課付)	16(1)		(1)	2	2		2	9
	予 防 課	4(1)		(1)		1	1	1	
	企画教養課	3			1			1	1
	情報管理課	(3)			(1)			(1)	(1)
	計	83		1	11	19	14	11	27
	署 長	1		1					
	首席審議員								
中央	副署長								
消	中 央 署	46			7	11	8	5	15
│ 防 │ 署	東分署	9			1	2	1	2	3
	西 分 署	9			1	2	1	2	3
	北 分 署	9			1	2	2	1	3
	中 分 署	9			1	2	2	1	3

◆ 勤続年数別職員数

区別	合 計	消防士	消防副士長	消防士長	消防司令補	消防司令	消防司令長	消防監
合 計	109	37	15	15	22	14	5	1
平均(年)			14.4	20.4	30.4	38.4	32.0	
0~1								
1~2	4	4						
2~3	9	9						
3~4	2	2						
4~5	8	8						
5~6	6	5	1					
6~7	2		2					
7~8	2		2					
8~9	3		3					
9~10			1					
10~11	6		4	2				
11~12	3		2	1				
12~13	1			1				
13~14								
14~15				3				
15~16	3			3				
16~17	1			1				
17~18	5			3	2			
18~19					3			
19~20	11			1	10			
20~21								
21~22								
22~23	1				1			
23~24								
24~25					1			
25~26					5	2		
26~27	1					1		
27~28	2					2		
28~29						-		
29~30	2					2		
30~31								
31~32						4		
32~33	6					4	1	1
33~34								
34~35	1					1		
35~36	4					4		
36~37	1					1		
37~38								
38~39								
39~40						4	4	
40~41	5					1	4	

◆ 年齢別職員数

区別	合 計	消防士	消 防副士長	消防士長	消 防司令補	消防司令	消 防司令長	消防監
合 計	109	37	15	15	22	14	5	1
平均(年齢)	34.3	22.8	28.5	34.4	40.4	51.0	58.2	57.0
18	2	2 4						
19	4	4						
20	1	1						
21	6	6						
22	5	5						
21 22 23	5	5						
24	3	3						
25	5 5 8 6	5	1					
25 26		2	2					
27	4 5 5 2 1	5 5 3 5 2 8	2					
28	5	<u> </u>	2					
20	2	1	J	1				
29 30	1	1	1	1				
31			3					
32	ა ე		3	3				
32	ა ე			3				
33	3 3 3 2		4					
34			1	1				
35	4			4	4			
36	1				1			
37	6				6			
38	2			1	1			
39	3			1	2			
40								
41	2			1	1			
42	4				4			
43	3				3			
44	4				3	1		
45	3				1	2		
45 46	4 3 4 3 1					2		
47								
48	1					1		
49	1					1		
50	,							
51	1					1		
52						2		
53	2					1		
54	'					'		
55	1						1	
56	1					1	<u> </u>	
57	3					2		1
	٥							
<u>58</u>	r .					٠,	A	
59	5					1	4	

◆ 消防予算

【歳 入】

	平 成 2	6 年 度	平 成 2	7 年 度		
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)		
分担金及び負担金	835,712	92.78	864,968	88.79		
使用料及び手数料	649	0.07	649	0.07		
国庫支出金	11,548	1.28	1	0.00		
県 支 出 金	0	0.00	0	0.00		
寄 付 金	1	0.00	1	0.00		
諸 収 入	6,661	0.74	94,481	9.70		
組合債	37,100	4.12	1	0.00		
財産収入	51	0.01	60	0.01		
繰 入 金	5,000	0.56	10,000	1.02		
繰 越 金	4,000	0.44	4,000	0.41		
歳入合計	900,722	100	974,161	100		

【歳 出】

	平 成 2	6 年 度	平 成 2	7 年 度
	予算額(千円)	構成比(%)	予算額(千円)	構成比(%)
人 件 費	723,185	80.29	737,253	75.68
物件費	57,359	6.37	62,043	6.37
維持補修費	1,500	0.17	4,101	0.42
扶助費	12,120	1.34	13,195	1.35
補助費等	3,783	0.42	3,549	0.36
普通建設事業費	52,812	5,86	11,300	1.16
公 債 費	47,911	5.32	52,485	5.39
積 立 金	52	0.01	88,235	9.06
予備費	2,000	0.22	2,000	0.21
歳出合計	900,722	100	974,161	100

◆ **職員の教育実施状況** 1 消防学校及び消防大学校及校

1 消防学校及び消防大学校人校													
	_	平					成(年度)						
		ら平成16年 までの合計	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	計
	初 任 科	58	3	5	7	2	3	6	9	3	10	4	110
	初級幹部科	18		2		2		2		2		2	28
	警 防 科	26		2		2		2		2		2	36
	救 助 科	43	2	3	2	2	2	2	2	2	2	2	64
	予 防 科	32	2										34
熊	危 険 物 科			2		2			2			2	8
熊本県消防学校	予防査察科				2		2		2		2		8
消	救 急 科	84	2	3	4	3	3	3	3	3	5	5	118
防 学	指導員科	28		2		2		2		2			36
校	火災調査科	24			2			2					28
	特殊災害科		2		2		2		2		2		10
	中級幹部科		2		2		2		2		2		10
	上級幹部科		2				2						4
	気管挿管講習		1	2	2	2	2		2	2	2	2	17
	計	313	16	21	23	17	18	19	24	16	25	19	511
	幹 部 科	9	1				1		1	1	1	1	15
	警 防 科	8							1		1		10
	予 防 科	6	1							1			8
消	危 険 物 科			1						1			2
防大	救 急 科	7			1						1		9
防大学校	救 助 科	2						1				1	4
	火災調査科			1					1				2
	新任教官科				1						1		2
	違反是正特別講習											1	1
	計	32	2	2	2	0	1	1	3	3	4	3	53

2 救急救命士資格・気管挿管認定・薬剤投与認定取得状況

			昭和53年から平成16年	$\overline{\Psi}$				成(年			(年度)		計			
			<u></u>		までの合計	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	ō1
救	急	救	命	Ϊ	10	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	20
気	管		挿	管	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	21
薬	剤		投	5	·		1	6	5	3	2	1	2	1	1	22

◆ 職員の特殊技能・資格取得状況

職	階級別		消防監	消防司令長	消防司令	消防司令補	消防士長	消防副士長	消防士
 資格!	Pil	109	1	5	14	22	15	15	37
具俗	大型 2 種	0	·	J			10	, 0	01
自	大型 1 種	77		5	13	22	14	15	8
動	大型特殊	5			3	2			
車	中 型	5					1		4
免	普 通 1 種	109	1	5	14	22	15	15	37
許	自 動 二 輪	50		3	8	16	8	8	7
	け ん 引	2			1	1			
	特 殊 無 線 技 士	87	1	5	14	22	15	13	17
	アマチュア無線技士	14		2	5	7			
	潜水士	71		2	12	21	13	15	8
	小型船舶操縦士	38		2	9	13	9	5	
	救助課程修了者	35		3	8	10	10	4	
	救 急 救 命 士	30	1		4	8	6	3	8
そ	救急標準課程修了者	56		3	12	21	13	5	2
	救 急 Ⅱ 課 程 修 了 者	13	1	4	8				
の	救急 [課程修了者	6	1	3	2				
411	応急 手当指導員	94	1	5	14	22	14	15	23
他	衛生管理者(第1種)	2				2			
の	甲種危険物取扱者	2				1	1		
	乙種危険物取扱者	83		4	10	20	14	14	21
免	甲種消防設備士	1					1		
	乙種消防設備士	32		1	3	13	11	3	1
許	消防設備点検資格者	0		4	4		0		
	酸素欠乏危険作業主任者	23		1	4	7	6	5	
•	特定化学物質等作業主任者	6			4	1	4	1	
資	火薬取扱主任者ガス溶接	16			1	4	4	2	2
	ガ ス 溶 接 士 クレーン(5t未満含む)	16 48		1	4 7	15	13	12	
格		37		2	7	8		8	1
	玉 掛 技 能 者 電 気 工 事 士	7			3	1	11 2	1	'
	<u>电 メ エ 争 エ</u> チェーンソー教育	10			3	3	3	3	1
	予防技術検定(危険物)	7			1	2	4	3	'
	予防技術検定(設備)	4			1	1	2		
	予防技術検定(査察)	20			4	6	7	3	
	航空特殊無線技士	20			1	1	'	<u> </u>	

消防活動



◆ 消防用車両配置状況

	車両名	車種名	型 式	排気量	年式	無線呼出
	指揮2号車	トヨタマークⅡ	E-GX90	1,980cc	Н 5	中 央32
	司令車	トヨタクラウン	GH-JZS171	2,490cc	H 1 2	
┃本	防災研修車	ニッサンキャラバン	KR-DWMGE25	2,950cc	H 1 9	
	事務連絡2号車	スバルプレオ	LE-RV1	650cc	H 2 0	
部	広報車	ニッサンティーダ	DBA-SC11	1,490cc	H 2 1	
	予防査察車	ニッサンティーダ	DBA-C11	1,490cc	H 2 3	
	事務連絡車	スバルインプレッサ	DBA-GP6	1,990cc	H 2 6	
	救急1号車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 6	中 央 1
	救急2号車	トヨタハイメディック	GB-UZH132S	3,960cc	Н 9	中 央 2
	救急3号車	トヨタアンビュランス	KC-KZH138S	2,980cc	H 9	中 央 3
	1号車	日野レンジャー	SDG-GX7GAA 改	6,400cc	H 2 7	中 央11
	2号車	いすゞELF	U-NKS58GR 改	3,630cc	H 5	中 央12
	化学車	三菱ファイター	KC-FK618GZW改	8,200cc	H 9	中 央13
	水槽車	三菱	U-FP418H	11,140cc	H 2	中 央14
	指揮1号車	トヨタハイエース	GE-RZH112V	1,990cc	H 1 1	中 央31
中	救助工作車	日野レンジャー	KK-GD1JGDA 改	7,960cc	H 1 3	中 央51
	梯子車	日野ブロフィア	KC-FH2KLEA	13,260cc	H 1 1	中 央52
央	資機材搬送車	三菱キャンター	TKG-FGB70	2,990cc	H 2 5	中 央53
	小型搬送車	三菱ミニキャブ	M-U14T	540cc	H 1	
署	災害救援車	日産シビリアン	KK-BJW41	4,160cc	H 1 1	
	旧西タンク車	いすゞフォワード	U-FRR32DBV 改	7,120cc	Н 3	
	救急指導車	トヨタコースター	U-BB46V 改	3,430cc	H 6	
	赤バイ1号	ホンダ	MD 31	250cc	H 9	
	赤バイ2号	ホンダ	MD 23	220cc	H 9	
	赤バイ3号	ホンダ	MD 23	220cc	H 9	
	赤バイ4号	ホンダ	MD 23	220cc	H 9	
	赤バイ5号	ホンダ	MD 23	220cc	H 9	
	赤バイ6号	ホンダ	MC 34	223cc	H 1 5	
東	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 3	人消東 1
東分署	タンク車	三菱ファイター	U-FK417EW 改	7,540cc	Н 3	人消東11
	広報車	日産アベニール	R-VEW10改	1,590cc	Н 3	人消東31
一两	高規格救急車	トヨタハイメディック	TC-VCH38S	3,370cc	H 1 5	人消西 1
西分署	タンク車	日野レンジャー	KK-GD1JGDA 改	7,960cc	H 1 3	人消西11
署	広報車	日産AD	E-WFNY10 改	1,490cc	H 4	人消西31
JK.	高規格救急車	トヨタハイメディック	CBF-TRH226S	2,690cc	H 2 3	人消北 1
北分署	タンク車	三菱ファイター	KK-FK61HE	8,200cc	H 1 2	人消北11
署	広報車	日産AD	E-WFNY10 改	1,490cc	H 7	人消北31
ф	高規格救急車	日産パラメディック	GE-FLGE50	3,270cc	H 1 2	人消中 1
中分署	タンク車	日野レンジャー	U-FD3HEAA 改	7,410cc	H 7	人消中11
署	広報車	日産AD	GJ-VFY11	1,490cc	H 1 2	人消中31
		<u>. </u>	<u>. </u>			

◆ 消防用特殊資機材保有状況

		10 15	W		配置	置部	署	
	品名	• 規 格	数量	中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
		30m 未満	51	32	7	1	8	3
	ロープ	30~50m 未満	29	16	6	1	4	2
		50~100m 未満	18	13		1	4	
		100m 以上						
	カラビフ	tO型	173	127	15	10	10	11
	滑車		12	10		1	1	
	緩降機	20m未満						
■救	及 牛 及	20m以上	1	1				
▼ 数 助 器 具	金属製鋼	建付き梯子	2	1		1		
▋買	複連はし	ノご三連式	4	3			1	
	安全マッ	ット	5	5				
	救命索夠	学射銃	2	2				
	安全バン	ソド	11	11				
	縛帯		8	6		1	1	
	ソフトラ	ランディング	3	2	1			
	山岳救則	力資機材一式	1	1				
	ロープ質	登攀器 	1	1				
┃ 保	空気呼吸	及器	35	26		3	3	3
保安用具	耐熱服		2	2				
具	防毒服		3	3				
	エンジン	ソカッター	5	1	1	1	1	1
	チェーン		8	2	2	1	3	
下中	ガス溶圏	新器 	1	1				
破壊	万能斧		18	8	3	3	2	2
▋用		ューツール	1	1				
	エアー)		2	2				
	エアーカ	ウッター	1	1				
	クリッ/	γ —	10	4	1	2	2	1
ماد	救命胴石		89	68	5	6	5	5
▋が	救命浮现	프 R	19	15	1	1	1	1
■救	救命ボー	- ト	4	4				
水難 救用具	船外機		5	5				
	潜水器具		6	6				
		ス測定器	1	1				
		ガス測定器	3	3				
測	炭化測泵		3	1	1	1		
測定器		き測定器	1	1				
	放射温度		5	1	1	1	1	1
		固人線量計	5	5				
	中性子絲	泉量率計	1	1				

	C 6 40 40	WL =			置部	署	
	品名・規格	数量	中央署	東分署	西分署	北分署	中分署
	自動式人工呼吸器(オートベント含)	6	2	1	1	1	1
	電動式吸引器	12	6	2	1	2	1
	マジックギブス(全身)	4	1		1	1	1
-5-	マジックギブス(部分)	7	3	1	1	1	1
▮ 救	訓練用人形	22	22				
救急用機材	自動体外式除細動器	6	2	1	1	1	1
▋機	輸液ポンプ	1			1		
	ショックパンツ	5	1	1	1	1	1
	患者監視装置	7	3	1	1	1	1
	エアーテント(多数傷病者救護所)	1	1				
	オゾン殺菌脱臭機	2	1			1	
	投光器	8	3	1	1	1	2
	メタルハライドランプ	5	3			1	1
	携帯用発電機	10	4	1	1	2	2
	携帯用拡声器	14	10	1	1	1	1
	ポートパワー	1				1	
	ジェットシューター	26	10	4	4	5	3
	ジェットシューター給水器	2	1			1	
	可搬消防ポンプ	6	2	1	1	1	1
	チルホール	2	2				
	張力計	2	2				
	服	3	3				
	耐 電 手 袋	11	4	2	1	2	2
	長 靴	4	4				
そ	バスケットストレッチャー	2	2				
の	エアーコンプレッサー	5	1	1	1	1	1
他	背負い式ホース器	3	1			2	
	高発泡器	2	1	1			
	低発泡器	4	1			1	2
	記録用カメラ	16	9	2	1	2	2
	空気充填設備	1	1				
	暗視カメラ	1	1				
	画像伝送システム	1	1				
	映写機						
	林野火災用動力噴霧器	1	1				
	<i>リ</i> 貯水槽(250L)	1	1				
	リ 資機材搬送車	1	1				
	角スコップ	128	24	26	28	27	23
	剣スコップ	143	64	22	19	19	19
	かけや	3		1		1	1
	פירוימ	3		1		1	1

◆ 消防水利

		市	町木	য়	人	錦	相	五	Ш	球	
					吉		良	木	江	磨	計
種	別				市	町	村	村	村	村	
消	基準		適	合	367	81	53	1	78	42	622
火	基準	適	合	外	163	202	86	23	11	81	566
栓	小			計	530	283	139	24	89	123	1188
防	2 0	m³	未	満	10	117	49	9	5	51	241
	20㎡以	上4	O m³ =	未満	100	16	5	0	11	11	143
火	4 0 ㎡以	上6	O m³ =	未満	159	124	84	46	75	29	517
水	60㎡以	上10) O m =	未満	0	1	2	0	0	1	4
	1 0	O n	ո 以	上	0	1	0	0	0	1	2
槽	小			計	269	259	140	55	91	93	907
	プ	_		ル	16	6	3	3	3	9	40
		†			815	548	282	82	183	225	2135

平成27年4月

◆ 救助業務

1 救助の概要

種別	年別	平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年					
作生 刀切											
	出場件数	1	3	1		1					
火 災	活動件数	1	3	1		1					
	救助人員		4								
	出場件数	25	20	25	20	26					
交通事故	活動件数	12	4	13	5	15					
	救助人員	13	6	16	6	18					
	出場件数	2	2	4		4					
水難事故	活動件数	2	2	4		1					
	救助人員	2	2	1		1					
	出場件数			4							
風水害等自然災害	活動件数			4							
	救助人員			6							
100	出場件数		1	2	2	1					
機 械 に よる事故	活動件数		1		2						
0, 0, 1	救助人員		1		2						
7 11 66 1-	出場件数		1	1							
建物等による事故	活動件数		1	1							
0, 0, 1	救助人員		3	1							
	出場件数	1		1							
ガス及び酸欠事故	活動件数	1									
	救助人員	1									
	出場件数										
爆発事故	活動件数										
	救助人員										
	出場件数	5	9	10	7	12					
その他の 事 故	活動件数	2	5	6	4	5					
3 3/	救助人員	2	5	6	4	5					
	出場件数	34	36	48	29	44					
総計	活動件数	18	16	29	11	22					
	救助人員	18	21	30	12	24					

出場年	出場種目	九州地区指導会	全国大会	
	ロープ登はん	1 名		陸上の部
平成12年	複合検索	1 名		水上の部
	水中結策	1チーム	1チーム	<u> </u>
┃ 平成13年	ロープ登はん 引揚救助	1 名		陸上の部
平成13年	51	1 <i>チーム</i> 2チーム	 1チーム	水上の部
	ロープブリッジ救出	2チーム	1) 4	陸上の部
平成14年	<u> </u>	1チーム	1 チーム	水上の部
	ロープ登はん	1 名	1) 4	グイエッショウ
	ロープブリッジ救出	2チーム		
双盘4.5年	引揚救助	1チーム		陸上の部
平成15年	ほふく救出	1チーム		
	水中結索	2チーム	1チーム	水上の部
	水中検索救助	1チーム	1チーム	ゾエのつロり
	ロープ登はん	1 名	1 名	
	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	陸上の部
平成16年	引揚救助 ほふく救出	1 チーム 1 チーム		
	水中結索	2チーム	 1チーム	
	水中偏泉 水中検索救助	1チーム	1) 4	水上の部
	ロープ登はん	1 名		
	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	陸上の部
平成17年	ほふく救出	1チーム		
	水中結索	1チーム		水上の部
	水中検索救助	1チーム	1チーム	ツエ() ロカ
	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	
T-4 4 0 F	ほふく救出	県大会1位通過 全国決定 1チーム	1チーム	陸上の部
平成18年	引揚救助		4 T 1.	
	水中結索 水中検索救助	1 チーム 1 チーム	1チーム	水上の部
	水中結索	1チーム	 1チーム	
平成19年	水中検索救助	1チーム	1) 4	水上の部
TI#00#	水中結索	2チーム	1チーム	-k.l. Ф. ФП
平成20年	水中検索救助	1チーム	1チーム	水上の部
Ψ#01 	ロープブリッジ救出	1チーム		陸上の部
平成21年	水中検索	県大会 1 位通過 全国決定	1チーム	水上の部
平成22年	ロープブリッジ救出	1チーム	1チーム	陸上の部
平成 23年		東日本大震災によ	り大会中止	
平成 24年	引揚救助	1チーム		陸上の部
平成25年				
平成26年				
			_	

◆ 火災統計

1 原因及び火災種別出火件数

\		J/T:														
火災種別			建		物		火		災			林	車	そ	爆	合
	専	併	店	複	I	倉	7	<u>そ</u> の	他の		<u>余</u>	野	画	の他		
	用	用	舗	複合用途			納	車	作	資	公			の		
	住	住	• 飲	途 ()					業	材	衆	火	火	火		
原因別			食	(特定)	+8	=	O	<u>_</u>	18	置	便	災	災	災	発	計
	宅	宅	店		場	庫	屋	庫	場	場	所					
火 入 れ																0
放 火	3						2				1	2	1	3		12
放 火 の 疑 い	1															1
た き 火																0
焼 却 火							1			1		1		8		11
たばこ																0
火 遊 び														1		1
こ ん ろ																0
マッチ・ライター							1						1			2
コンセント																0
ス ト ー ブ																0
配線器具		1	2										3	1		7
電 気 機 器																0
電灯・電話等の配線																0
電気装置																0
排 気 管													1			1
風 呂 か ま ど																0
そ の 他									1							1
不明 • 調査中	2						1	1				1	1	1		7
숨 計	6	1	2	0	0	0	5	1	1	1	1	4	7	14	0	43

2 火災出場状況

	区分			災 件 !	数(件)			焼	損材	東数	(桐	(
月別		計	建物	林野	車面	爆発	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	住宅	非住宅
H23年	(2011)	31 (1)	17	3	3 (1)		8	30	8	1	13	8	18	12
H24年	(2012)	19	10	2	2		5	11	1		1	9	5	6
H25年	(2013)	24	8	6	3	1	6	9	4		2	3	4	5
H26年	(2014)	43	18	4	7		14	35	18	1	11	5	9	26
1	月	6	2		1		3	2			1	1	1	1
2	月	5	2				3	2			2		1	1
3	月	8	2	3	1		2	2			1	1		2
4	月	3	1				2	1				1		1
5	月	8	4		2		2	9	6		3		1	8
6	月	1	1					1	1					1
7	月	6	3		2		1	11	8		2	1	3	8
8	月	2	1				1	4	2		1	1	2	2
9	月													
10	月													
11	月	1	1					2	1	1			1	1
12	月	3	1	1	1			1			1			1
人 岂	5 市	20	7	2	4		7	9	3	1	2	3	3	6
錦	町	16	7	2	2		5	12	4		6	2	4	8
相 总	員 村	1	1					1			1			1
五	ト 村													
Ш	I 村	4	2				2	9	7		2		1	8
球	善村	2	1		1			4	4				1	3
行政区外	(高速)													

	真 面 ㎡) 表 I 面 I	積 林野(a)	罹災世帯数	罹災人員	死者数	負傷者数	損 (千 円) 額
788	55	8	18	36	4	3 (1)	41,755 (1,400)
210	145	53	6	16		, , ,	24,274
642	58	143	8	18	1	2	7,847 (120)
1,285	253		8	32		5	52,777
8			1	2			32
10							56
	7		1	4			187
							1
241	201		1	8			14,138
28							165
406	21		2	5		2	5,141
135	13		2	8		3	3,829
457			1	5			29,155
	11						73
617	205		3	9		2	40,922
258	22		3	12		3	5,277
	7						15
190	19		1	3			2,648
220			1	8			3,915

平成二十七年度全国

◆ 救急統計

1 救急の概要

分	出場件数	搬送人員	救	急	事
月別			火 災	自然災害	水 難
H23年(2011)	2,410	2,260	11	1	3
H24年(2012)	2,487	2,360	4	1	2
H25年(2013)	2,609	2,461	6		
H26年(2014)	2,733	2,552	14		3
1 月	244	228			
2 月	186	173	3		
3 月	245	227			
4 月	211	196	1		
5 月	238	221	1		
6 月	191	178	1		
7 月	242	225	4		
8 月	236	226	2		1
9 月	220	207			1
1 0 月	204	197			
1 1 月	246	230	1		
1 2 月	270	244	1		1
人 吉 市	1,655	1,537	8		1
錦町	475	451	5		
相 良 村	144	140			
五 木 村	98	81			
山 江 村	135	130	1		
球 磨 村	183	174			2
高速道路	41	37			
管 轄 外	2	2			

故	種	別 (出	場	件	数)
	\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\\	\m_\tau_+	40.00.00		4 12.54	-	7 - 0
交 通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
242	26	17	273	4	42	1,534	257
196		20	314	11	34	1,602	272
227	19	23	348	19	31	1,641	295
004	40	00	004	4.4	00	4.754	070
221	48	28	364	11	23	1,751	270
13		1	30		1	171	26
11	2	_	25		1	125	19
17	4	5	28		3	164	24
16		4	27		4	134	22
11	5	2	27	1		165	26
18		3	22	1	1	124	17
11	8	2	34	2	3	159	19
33		4	27	3	4	131	27
22		3	42	1	2	122	23
20		1	27		2	130	19
22	3	2	45	2	2	149	20
27	4	1	30	1		177	28
		<u> </u>					
99		20	212	9	14	1,051	220
53	3	2	66	1	4	315	26
16	6	2	24			87	9
3	9	2	7			67	10
8	4		19	1	4	97	1
11	5	2	34		1	126	2
30			1			8	2
1			1				

2 曜日別・時間別救急出場件数

平成26年中

<u> </u>	事故種別											<u> </u>	
		合	火	自然	水	交 通	労 働	運動	般	加	自損	急	そ
				災		事	災	競	負		行		の
区分		計	災	害	難	故	害	技	傷	害	為	病	他
	計	2,733	14	0	3	221	48	28	364	11	23	1,751	270
	В	409			1	35	2	7	65	2	2	268	27
	月	385	1			46	8	4	47	1	4	232	42
曜	火	358	3		1	25	10		37	1	4	248	29
	水	427	2			24	4	1	66	2	3	286	39
	木	365	2			28	9	4	48		5	235	34
	金	387	2		1	31	6	3	41	2	4	242	55
	土	402	4			32	9	9	60	3	1	240	44
	0~2	106				4			13	2		80	7
	2~4	105				4		1	7		2	85	6
時	4~6	108				3			10	2	1	84	8
	6~8	217				16	2		26		3	163	7
	8~ 10	310	6			31	13	З	42		3	181	31
間	10~ 12	306	2			19	9	5	47		6	170	48
山	12~ 14	300	1		1	26	5	6	41	1	4	174	41
	14~ 16	277	1		1	34	14	5	49	1		139	33
	16~ 18	291	1		1	30	4	2	40		1	174	38
別	18~ 20	271				24		3	33		2	186	23
	20~ 22	257	1			17	1	3	34	2	1	180	18
	22~ 24	185	2			13			22	3		135	10

3 救急事故種別搬送状況

平成26年中

	種別	合		Į.	F		故			種		別		不
区分		[]	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その色	搬送
出場	件数	2,733	14		3	221	48	28	364	11	23	1,751	270	
傷 % 搬 送	考 者 件数	2,523	4		2	195	44	28	342	10	15	1,649	234	210
搬	男	1,319	4		1	111	37	19	174	7	7	857	102	igwedge
送 	女	1,233	1		1	108	8	9	168	4	8	794	132	$ \cdot $
員	計	2,552	5	0	2	219	45	28	342	11	15	1,651	234	\setminus

4 傷病程度別搬送人員

平成26年中

	種別	合			Ĭ p		故			種		別	
区分		計	火災	自然災害	水難	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	そ の 他
死	Ċ	2									1	1	
重	症	203				0	8	1	18		6	106	55
ф	等症	1,326	5			82	11	7	157	4	5	882	173
軽	症	1,021			2	128	26	20	167	7	8	662	6
そ	の他	0											
合	計	2,552	5	0	2	219	45	28	342	11	15	1,651	234

5 救急隊員が行った応急処置件数

平成26年中

						十成とし午中
事故種別項目	急	病	交通事故	一般負傷	その他	合 計
対 象 人	1 ,	646	219	341	335	2,541
止	加	9	14	35	8	66
固	È	9	149	51	16	225
人 工 呼 。	及	10		2	1	13
心マッサー芸	ジ	5		2	1	8
心 肺 蘇	Ė	44	2	8	7	61
酸素吸	λ .	339	36	33	93	501
気 道 確 (杲	68	4	9	14	95
(経鼻エアウェイ)		11	1			12
(喉 頭 鏡 ・ 鉗 子 等)		2		1		3
(ラリンゲアルマスク等)		1				1
(気管挿管チューブ)		7		3		10
保		504	53	93	91	741
被	夏	5	47	80	20	152
在宅療法継続	売	2				2
ショックパンツ	ソ					0
除細	助	7			1	8
静脈路確似	杲	20		3		23
薬 剤 投	₹	15	1	3		19
血圧測	包 1,	559	212	323	310	2,404
聴診器(心音・呼吸音)聴耳	Z Z	57	34	15	7	113
血中酸素飽和度の測気	主 1,	596	217	331	322	2,466
心電図モニター	_	757	26	52	81	916
その他の応急処置	置	302	19	27	43	391
	† 5,	329	815	1,071	1,015	8,230

6 医療機関別搬送状況

平成26年中

											, , -	
	اً ا	医		療		機			Ē	関	そ	合
	救	急告	示 医	療機	関		その・	他の	医療	機関	の	
	E	<i>(</i> .)	私	的	115	Ð	<i>1</i> .\	私	的	41x		
	玉	公			小	玉	公			小	他	
	•		病	診		•		病	診		の	
	公			療		公			療		場	
	$\overrightarrow{\Sigma}$	的	院	所	計	$\overline{\underline{1}}$	的	院	所	計	所	計
L												
	42	2,014	373	2	2,431	4	4	47	64	119	2	2,552

◆ 通信関係

1 無線設備配置状況

1) デジタル無線

基	ţ	地		局	6)局										
固	5	定		局	(')	3局										
陸	上和	移	動	局	36	6局		(車載型	24局	/	携帯型	1	2局)			
					活	動	波	1								
					活	動	波	2								
無	線	種	=	別	긤	運	用	波								
ж	TOK	1 5	≝ .	וכט	統	制	波	1								
					統	制	波	2								
					統	制	波	3								

無線従事者

特殊無線技士89名(航空特殊無線技士2名含)

≪1級陸上(1名)2級陸上(54名)3級陸上(34名)航空特殊(2名)≫

消防本部・中央消防署
ひとしょうほんぶ
固定局 1 OW
陸上移動局
車載型1 OW 1 2局
携帯型 1 W 8局

中央消防署東分署 ひとしょうひがし 陸上移動局 車載型10W 3局 携帯型 1W 1局 中央消防署西分署
ひとしょうにし
陸上移動局
車載型10W 3局
携帯型 1W 1局

中央消防署北分署ひとしょうきた陸上移動局車載型10W携帯型 1W1局

中央消防署中分署ひとしょうなか陸上移動局車載型10W携帯型 1W
1局

高塚山 ひとしょうたかつかやま 基地局 1 OW 固定局 1 OW 八原 ひとしょうやつはる 基地局 1 OW 固定局 1 OW 球磨村 ひとしょうくまむらやくば 基地局 1 OW

2)アナログ無線

高速道路トンネル
ひとしょうひごとんねる
基地局 20W
ひとしょうかくとう
基地局 1 0W

一般国道トンネル しょうぼう きゅうしちとんねる 基地局 1 OW

※陸上移動局(携帯型)13局(内5W:8局、署轄系無線機1W:5局)

通報統計 (1)時間別着信状況

種別時間	火災	<u> </u>	その他 災害	問合せ	試験	いた ずら	間違い	その他	計
0	5	56	1			1	5	5	73
1		35		5			3	4	47
2	2	46		5	12		1	8	74
3	2	47	1	5	3		4	4	66
4		37		1	3		3	3	47
5		54		8			1	7	70
6		83		5		2	3	11	104
7		107	1	5	1			10	124
8	4	123		3	30		3	23	186
9	9	123		9	93	1	5	28	268
10	5	114	1	3	193		8	56	380
11	2	111	2	3	131	1	15	31	296
12	3	118	2	10	27		10	9	179
13	3	128		4	87		8	26	256
14	3	113	3	9	150		15	31	324
15	5	113	1	6	67	1	9	35	237
16	1	99	1	6	58		10	19	194
17	1	128		9	23		7	29	197
18	1	107	1	14	13		6	24	166
19		124		10	13		3	14	164
20		116	1	9	8		3	27	164
21	6	100		4			9	19	138
22	5	78		7			2	29	121
23	1	71		6	2		3	14	97
計	58	2,231	15	146	914	6	136	466	3,972

(2)月別119着信状況

種別 月別	火 災	救 救 助	その他災 害	問合せ	試験	いだら	間違い	その他	計
1	5	197		17	62		11	26	318
2	3	149	2	9	77		12	38	290
3	8	212		15	80	1	12	46	374
4	3	171		5	86		13	31	309
5	7	189		13	105		7	25	346
6	4	158	1	8	66		15	36	288
7	18	204	3	22	43		9	51	350
8	5	183	1	10	51	1	14	37	302
9		178	1	9	81	1	11	41	322
10		169	1	23	77	1	13	31	315
11	2	199	4	5	103	2	10	44	369
12	3	222	2	10	83		9	60	389
計	58	2,231	15	146	914	6	136	466	3,972

3 気象情報

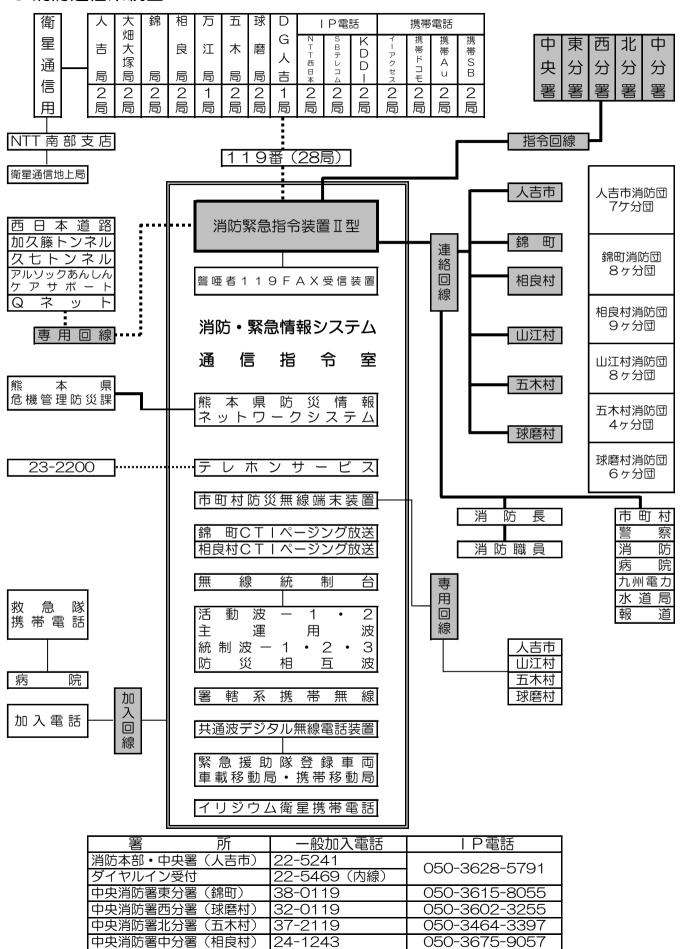
月区分	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
最高気温(℃)	18.9	22.1	25.2	26.1	34.0	32.9	35.1	33.4	32.8	29.4	22.7	15.3	
最低気温(℃)	-4.9	-2.9	-3.5	0.2	4.6	16.0	17.6	20.9	16.0	7.2	1.9	-5.2	
平均気温(℃)	4.5	6.5	10.0	14.5	18.5	21.6	25.7	25.8	22.7	18.6	12.3	5.1	
年間平	P均気温	15.5	$^{\circ}$	年間最	高気温	35.1	$^{\circ}$	年間最	低気温	-5.2	$^{\circ}$		
平均風速(%)	1.0	0.9	1.2	1.3	1.2	1.1	1.3	1.3	0.9	1.4	1.0	1.3	
最大風速(ട്രീ)	7.4	5.8	7.0	9.2	7.8	6.6	10.1	8.7	5.3	14.2	6.1	6.0	
同上風向	北西	北西	東南東	東南東	東南東	東	南東	南東	東南東	東南東	北北西	北西	
年間平	P均風速	1.2	m/ _S	最大	風速	14.2	m/ _S	東南東	-				
降水量(mm)	72.0	153.5	179.0	103.5	210.5	460.0	470.5	232.5	310.0	76.0	107.0	74.0	
年間降	降水量	244	8.5 mm	i 月	最大降	水量 4	170.5	mm	7月				
平均湿度(%)	77	80	74	73	71	82	81	86	86	80	85	81	
年間平	P均湿度	80	%										

※気象観測装置データ欠損の為、気象庁のデータを掲載

4 通信指令施設概要

項目	番号		数量	単位	備 考
	1	指令台	1	台	NEFAST-MX
	2	報知情報収集録音装置	1	架	多チャンネル型、再生用デッキ、カセットコンパイラ
	3	非常用指令装置(補助盤)	1	台	40回線
	4	指令制御装置	2	架	
	15)	指令台用電源装置	1	台	DC48V·RECT30A·BATT150A
	6	無停電電源装置	1	台	5KVA · AC100V · 10min
通	7	署所端末装置	5	台	中央(1)・東(1)・西(1)・北(1)・中(1)
信	00	119補助受付電話機	2	式	
	O	拡張台	2	台	
指	10	総合情報表示盤	1	面	固定式
令	11	車両運用表示盤	1	面	固定式(40車輌)
	13	無線統制台	1	台	活動波1,2・主運用波・統制波
シ	14	自動出動指定装置	2	式	ページプリンター1台
ス	15	指令伝送装置	5	式	1KVACVCF付
テ	16	地図等検索装置	2	式	ページプリンター1台
	17	音声合成装置	1	式	
厶	18	順次指令装置	1	台	
	19	電子式自動電話交換装置	1	架	PBX
	20	災害状況自動案内装置	1	台	
	21	庁内放送設備	1	式	120W
	22	気象情報収集装置	1	式	デジタル表示一式 ・ プリンター1台
	23	リモート保守装置	1	式	
	24	統合型発信地位置表示装置	1	台	
無	26	統制波用無線電話装置	1	台	
線	27	主運用波用無線電話装置	1	台	
装置	28	活動波1・2用無線電話装置	1	台	
	29	共通波デジタル無線電話装置	1	台	
_	32	監視カメラ	2	台	20インチモニターテレビ
その	33	市町村防災無線装置	4	台	端末装置
他	34	緊急放送受信用テレビ	1	台	21インチ
	35	熊本県災害情報システム端末	1	台	

5 消防通信系統図



中央消防署中分署(相良村)

050-3675-9057

予防業務



◆ 防火対象物現況

	[7]	火对象羽垷沉				
	<u> </u>	対象物等	防火対象物数	防火管	理者	点検が必要
			150㎡以上		_	な
令	別表	長項目別	(17項を除く)	必要な	届出数	防火対象物
	1		4	施設数	4	
1	<u>イ</u>	劇場・映画館・演芸場・観覧場	1	1	1	1
		公会堂又は集会場	47	32	32	
	<u>イ</u>	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	1	1	1	1
2	<u> </u>	遊戯場又はダンスホール	11	10	10	11
L	ハ	風俗営業店等				
	_	カラオケボックス・個室ビデオ店等	3	3	3	3
3	1	待合・料理店の類	1	1	1	1
		飲食店	60	53	43	
4	-	百貨店・マーケット・物品販売店等	133	70	70	133
5	1	旅館・ホテル又は宿泊所	45	26	26	45
		寄宿舎・下宿・共同住宅	417	87	17	417
	1	病院・診療所・助産所	69	48	47	69
		老人・児童福祉施設等で介護程度の	36	35	35	36
6		重いものが入所する施設	0	55)	30
	<i>/</i> \	上記以外の福祉施設及び保育所等	75	67	67	75
	_	幼稚園・盲・聾・養護学校	6	6	6	6
7	7	小・中・高等学校・大学・各種学校の類	118	118	118	106
ω	8	図書館・博物館・美術館	12	7	7	7
9	7	蒸気浴場・熱気浴場				
9		イ以外の公衆浴場	10	7	6	10
10	0	車両の停車場・船舶・航空機発着場	5	2	2	2
1	1	神社・寺院・教会の類	42	24	24	24
12	1	工場•作業場	356	43	43	356
12		映画スタジオ・テレビスタジオ				
10	1	自動車車庫・駐車場	31	0	0	31
13		飛行機・回転翼・航空機の格納庫				
1.	4	倉庫	190	21	21	189
1	5	前各項に該当しない事業場	553	70	70	359
	,	令別表(1)~(4)イ・(6)(9)イ・の用途	050	0.5	0.5	000
16	1	に供する部分のある複合用途対象物	256	85	85	229
		イ以外の複合用途対象物	140	9	9	82
1	7	文化財・重要文化財	21	4	4	
		승 計	2,639	830	748	
			۷,009	000	140	۷,02 ا

◆ 管内中高層建築物現況

<u> </u>	r J	PJ /		<u> 代刊/花/</u>	70				
	\	⊠ \	分	3	4	5	0	7 階 以	口
令 別 表	項目別	31		階	階	階	階	上	計
合			計	308	77	32	8	18	443
市	人	吉	市	280	74	32	8	18	412
	錦		町	17	2				19
町	相	良	村	5	1				6
村	五	木	村	4					4
	Ш	江	村						0
別	球	磨	村	2			-		2

平成26年度幼年消防クラブ 防災ポスター展優秀作品



人吉乳児保育園 みやさか さとし さん



人吉乳児保育園 くぼた はると さん

◆ 消防法令に基づく各種届出

平成26年度中

月 別種 別	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
消防計画届出書	30	18	15	15	14	3	11	6	2	1	6	11	132
防火管理者選解任 届 出 書	11	10	4	5	9	3	8	7		1	5	12	75
消防用設備等着工届 出 書	2		2	2	5	1		2	1	7	3	5	30
消防用設備等設置届出書	2		1	2	7	2		4	2	2	5	5	32
消防用設備等点検結 果報告書	56	48	46	65	39	50	74	66	60	53	38	55	650
防火対象物使用開 始 届 出 書	2			2	3	1	1	3	2		2	5	21
消防訓練実施計画報 告 書	20	28	21	17	14	31	53	64	26	16	22	37	349
消防訓練実施結果 報 告 書	27	30	19	16	19	20	28	64	46	11	16	42	338
煙火打ち上げ・ 仕 掛 報 告 書	6	17	3	30	9	28	19	6	3	5	3	4	133
少量危険物 · 指定可燃物貯蔵取扱届出書	1	2	1	1	1	2	1	1	7		1	1	19
炉・かまど・ボイラー乾 燥 設 備 設 置 届 出 書			Ω					1					4
発電·変電·蓄電池 設置届出書		1	13		7	2	3	2	1		3	1	33
禁 止 行 為 の 解 除 承 認						1	1	1	1	1			5
露店等の開設届出書	2		1	30	17	7	19	8	4	3	6	3	100
圧縮アセチレンガス 等 貯 蔵 届 出 書	1	2		1			1	1		2		1	9
火災とまぎらわしい煙又は 火炎 を発する行為	10	3	3	6		6	13	10	14	34	16	17	132
計	170	159	132	192	144	157	232	246	169	136	126	199	2,062

◆ 防火管理者講習会実施状況

各年中

年 度	実施月日	受講者数		年 度	実 施 月 日	受講者数
平成17年度	8月 4日~ 5日	74	Ī	平成22年度	9月16日~17日	80
平成18年度	8月 3日~ 4日	69	Ī	平成23年度	9月21日~22日	78
平成19年度	7月26日~27日	64	Ī	平成24年度	9月20日~21日	68
平成20年度	9月25日~26日	85	Ī	平成25年度	9月19日~20日	55
平成21年度	9月17日~18日	80	Ī	平成26年度	9月25日~26日	59

◆ 建築物の同意件数

平成26年度中

			3 /67 1	0.01									1 //		
	月	別	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
市町村	別		月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
人	吉	中	1	7	8	10	5	7	8	5	5	3	5	5	69
錦		田		1				1		1			2	1	6
相	良	村													0
五	木	村													0
Ш	江	村					1								1
球	磨	村				1			1						2
合		計	1	8	8	11	6	8	9	6	5	3	7	6	78
新		築		7	8	10	5	6	8	5	4	1	6	5	65
増		築	1	1			1	2	1	1	1	1	1	1	11
改		築													0
用	途 変	更				1						1			2
そ	の	他													0

◆ 危険物施設·規制事務状況

平成26年度中

	心火物心	~ 770	163 <u>a.</u> 4	123 17 V	<u>/U</u>							1 /2		1/21
	施設区分	製		貯		蔵		所		耳	Z J	及 F	近	合
×		造所	貯屋 蔵 所内	タ屋 ン ク外	タ屋 ン ク内	タ地 ン ク下	夕簡 ン ク易	タ移 ン ク動	貯屋 蔵 所外	取給 扱 所油	販第 一 売種	販第 二 売種	取一 扱 所般	計
	人吉市	1	14	19	Э	37		18	3	27	1		25	148
市	錦町		6	2	1	13	1	5		11			12	51
	相良村			5		4		3		9			1	22
	五木村		2					2		4				8
村	山江村		1			2				4				7
	球 磨 村		2			2		2		3				9
合	計	1	25	26	4	58	1	30	3	58	1	0	38	245
	設置許可							1						1
規	変更許可							З		15			16	34
制	水 圧(水 張) 検 査													0
事	完 成 検 査							4		14			15	33
務	仮使用承認													0
	廃止届		2							1			1	4
合	計	0	2	0	0	0	0	8	0	30	0	0	32	72

	月別		5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合
Ŋ	ומ	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	計
届	出認可等	18	10	7	7	1	5	4	5	9	1	1	6	74

消防団



幼年婦人防火委員会



◆ 消防団の組織及び現有勢力

		/	人吉市	錦町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
分	J	数	7	8	9	4	8	6	42
積	載	曲	24	25	20	6	9	16	100
小	型 ポン	プ	25	25	20	21	18	13	122
	定	員	559	350	350	130	200	335	1,924
	実	阊	519	373	311	121	163	261	1,748
	団	長	1	1	1	1	1	1	6
人	副団	長	3	2	2	1	2	2	12
	方面隊	景	5			※指導員 5			5 %5
	分 団	長	7	8	9	4	8	6	42
員	副分団	景	7		20	2	8	6	43
	部	長	22	23		4	9	20	78
	班	長	88	24	58	30	36	44	280
	J	員	386	315	221	74	99	182	1,277

◆ 年齢別消防団員数

	人吉市	錦町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
20 歳未満	3	4	1	0	0	3	11
20 歳以上 30 歳未満	123	102	81	19	46	53	424
30 歳以上 40 歳未満	213	214	133	30	86	102	778
40 歳以上 50 歳未満	91	35	72	37	24	79	338
50歳以上60歳未満	55	13	17	29	4	21	139
60歳以上70歳未満	28	5	7	6	3	3	52
70 歳以上	6	0	0	0	0	0	6
合 計	519	373	311	121	163	261	1,748

◆ 在職年数別消防団員数

	人吉市	錦町	相良村	五木村	山江村	球磨村	合 計
5 年未満	199	104	77	32	40	47	499
5年以上10年未満	107	110	58	17	35	75	402
10年以上15年未満	115	104	65	13	44	46	387
15年以上20年未満	65	38	59	11	25	46	244
20 年以上 25 年未満	25	12	32	25	14	30	138
25 年以上 30 年未満	7	2	12	9	3	14	47
30 年以上	1	3	8	14	2	3	31
合 計	519	373	311	121	163	261	1,748

◆ 幼年消防クラブの現況

市町村名	ク ラ ブ 名 称	結 成 年 月 日	員 数
	中原保育園幼年消防クラブ	昭和51年 7月15日	30
	泉田保育園幼年消防クラブ	昭和58年 7月 8日	22
	おこば保育園幼年消防クラブ	昭和58年 7月11日	20
	蓬莱保育園幼年消防クラブ	昭和58年 7月13日	18
	人吉こども園幼年消防クラブ	昭和58年 7月15日	13
┃ 人吉市	善隣保育園幼年消防クラブ	昭和58年 7月18日	23
	林保育園幼年消防クラブ	昭和58年 7月19日	34
	認定こども園さざなみ保育園幼年消防クラブ	昭和58年 7月20日	17
	あいだこども園幼年消防クラブ	昭和58年 7月21日	24
	こばと保育園幼年消防クラブ	昭和58年 7月23日	19
	せん月保育園幼年消防クラブ	昭和58年 7月28日	15
	人吉乳児保育園幼年消防クラブ	昭和58年 8月30日	24
	福島保育園幼年消防クラブ	昭和58年 5月 1日	41
	サン保育園幼年消防クラブ	平成 6年 2月15日	27
錦町	一武保育園幼年消防クラブ	平成 7年 1月10日	26
	木上ひかり保育園幼年消防クラブ	平成 7年 1月10日	26
	西保育園幼年消防クラブ	平成 7年 1月10日	18
	なつめ保育園幼年消防クラブ	昭和58年 6月13日	21
相良村	暁保育園幼年消防クラブ	昭和59年 2月24日	28
	四浦保育所あざみ園幼年消防クラブ	平成 9年 3月12日	8
111277	山江保育園幼年消防クラブ	昭和58年 8月30日	10
山江村	章鹿倉保育園幼年消防クラブ	平成 8年 2月10日	39
T-12: GET + -+	こがね保育園幼年消防クラブ	昭和58年 6月28日	13
▮ 球磨村 ▮	神瀬保育園幼年消防クラブ	昭和59年 1月17日	13
五木村	中央保育所幼年消防クラブ	昭和63年 7月28日	13
		計 25クラブ : 5	342名
L	_		

◆ 保育園(所)防火クラブの現況

市町村名	クラブ保育園(所)名	結 成 年 月 日	員 数
	泉田保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	21
	おこば保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10
	蓬莱保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	3
	人吉こども園防火クラブ	平成12年 7月 1日	3
	中原保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	5
人吉市	こばと保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	10
	せん月保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	14
	人吉乳児保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	20
	善隣保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	23
	林保育園防火クラブ	平成13年 4月 1日	8
	あいだこども園防火クラブ	平成21年 4月 1日	24
錦町	福島保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	5
1北床末廿	こがね保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	13
球磨村	神瀬保育園防火クラブ	平成12年 8月 1日	12
相良村	なつめ保育園幼年消防クラブ	平成12年 8月 1日	21
山江村	章鹿倉保育園防火クラブ	平成12年 7月 1日	38
		計 16クラブ :	230名

◆ 婦人防火クラブの現況

市町村名		クラブ名称	結 成	年月	В	員 数
相良村	四浦	晴山婦人防火クラブ	昭和30年	4月	1 🛭	13
			計	1クラ	ブ :	13名

全国統一防火標語(昭和41年度~平成27年度)

王国統一	的火候器(哈利41年度~平成21年)
昭和41年度	火の始末 人にたのむな 任せるな
昭和42年度	さあねよう アッその前に 火の点検
昭和43年度	あなたは 火事の恐ろしさを 知らない
昭和44年度	今捨てたタバコの温度が700度
昭和45年度	防火三百六十五日
昭和46年度	いま燃えようとしている火がある
昭和47年度	
昭和48年度	• • • • • • • • • • • • • • • • • • •
昭和49年度	生活の一部にしょう、火の点検
昭和50年度	
昭和51年度	
昭和52年度	
昭和53年度	
昭和54年度	
昭和55年度	
昭和56年度	毎日が「防火デーです」ぼくの家
昭和57年度	
昭和57年度	
昭和59年度	
昭和60年度	がいのは 「消したつもり」と 「消えたはず」
昭和61年度	防火の大役をあなたが主役
昭和62年度	
昭和63年度	その火をの時では、大はこれが、大きない。
平成 元年度	おとなりにあげる安心火の始末
平成 2年度	まず消そう、火への鈍感、無関心
平成 3年度	
平成 4年度	
平成 5年度	
平成 6年度	安心の 暮らしの中心 火の用心
平成 7年度	災害に 備えて日頃の 火の用心
平成 8年度	
平成 9年度	
平成10年度	気をつけて はじめはすべて 小さな火
平成11年度	あぶないよ ひとりぼっちにした その火
平成12年度	火をつけた あなたの責任 最後まで
平成13年度	たしかめて。 火を消してから 次のこと
平成14年度	
平成15年度	その油断 火から炎へ 災いへ
平成16年度	火は消した? いつも心に きいてみて
平成17年度	
平成18年度	消さないであなたの心の注意の火
平成19年度	火は見てる あなたが離れる その時を
平成20年度	火のしまつ 君がしなくて 誰がする
平成21年度	消えるまで ゆっくり火の元 にらめっ子
平成22年度	「消したかな」あなたを守る 合言葉
平成23年度	
平成24年度	
平成25年度	消すまでは 心の警報 ONのまま
平成26年度	
平成27年度	無防備な 心に火災が かくれんぼ

消防本部位置図 至 八代市↑ 熊本方面 人吉 I C 鹿児島・ 宫崎方面 消防本部•中央署 JR肥薩線 人吉駅 国道219号 青井阿蘇神社 ● 郵便局 球磨川 ● 市役所 ● 振興局 胸川 至 湯前→ ● 警察署 至 えびの市↓ 至 伊佐市↓

編集発行 人吉下球磨消防組合消防本部 企画教養課

〒868-0083 熊本県人吉市下林町1番地

TEL: (0966) 22-5241 FAX: (0966) 22-5240

MAIL: honbu@fire119-hitosho.com ホームページ: http://www.fire119-hitosho.com/